

**平成27年度(平成26年度実施分)
指定管理者管理運営状況評価表**

立川市公の施設指定管理者評価委員会

14.	羽衣地域福祉サービスセンター	70
	【介護保険課（社会福祉法人恵比寿会）】	
15.	上砂地域福祉サービスセンター	73
	【介護保険課（社会福祉法人桜栄会）】	
	－まちづくり部－	
16.	自転車等駐車場（第1ブロック）	76
	【交通対策課（日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社）】	
17.	自転車等駐車場（第2ブロック）	80
	【交通対策課（日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社）】	
18.	駐車場	83
	【交通対策課（公益財団法人東京都道路整備保全公社）】	
	－教育部－	
19.	八ヶ岳山荘	87
	【生涯学習推進センター（株式会社レストラン・ピガール）】	
20.	学習等供用施設（滝ノ上会館ほか10施設）	91
	【生涯学習推進センター（各館管理運営委員会）】	
21.	幸図書館	124
	【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
22.	西砂図書館	127
	【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
23.	高松図書館	130
	【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
24.	錦図書館	133
	【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
25.	若葉図書館	136
	【図書館（株式会社図書館流通センター）】	

平成26年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

施設名	(1)施設の設置目的達成に関する取り組み	(2)業務の履行状況	(3)サービスの質に関する事項	(4)施設・設備の維持管理状況	(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項	(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項	(7)地域貢献に関する事項	(8)コンプライアンスに関する事項	(9)その他特記事項・追加評価項目	(10)立川市のコスト削減状況	総合評価
市民会館	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
子ども未来センター ※1	A/A/A/-	A/A/A/A	A/B/A/A	A/A/-/-	A/B/A/A	A/B/A/A	A/-/-/-	A/A/A/A	A/A/-/-	-	A/A/A/A
柴崎市民体育館	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
泉市民体育館	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
幸児童館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	A	A
高松児童館	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
若葉児童館・若葉学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	B/A	A/A	A/A	A/A	-	A/-	A/A
西砂児童館・松中学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	-	A/-	A/A
羽衣児童館・羽衣学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/B	A/A	A/A	A/-	A/-	A/A
富士見児童館・南富士見学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/-	A/-	A/A
斎場	A	A	A	A	A	A	-	A	-	A	A
総合福祉センター	A	A	A	A	A	A	A	A	-	A	A
柏地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A	A	A	A	-	A	A
羽衣地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
上砂地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A	A	A	A	-	A	A
自転車等駐車場(第1ブロック)	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
自転車等駐車場(第2ブロック)	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
駐車場	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
八ヶ岳山荘	A	A	A	A	A	A	A	A	-	A	A
立川市滝ノ上会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
立川市こんぴら橋会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
立川市高松会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
立川市若葉会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
立川市こぶし会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
立川市羽衣中央会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
立川市天王橋会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
立川市柴崎会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
立川市さかえ会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
立川市西砂会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
立川市上砂会館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A
幸図書館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	A	A
西砂図書館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	A	A
高松図書館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	A	A
錦図書館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	A	A
若葉図書館	A	A	A	A	A	A	A	A	-	A	A

※1 評価欄は、左から 施設全般の管理運営に関する業務及び自主事業／子育て支援業務／市民活動支援業務／文化芸術活動支援業務 を表す。

※2 評価欄は、左から 児童館運営管理／学童保育所運営管理 を表す。

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
たましんRISURUホール(立川市市民会館)	公募	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成25年11月30日～平成36年3月31日(10年4か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	市民の福祉の増進と文化の向上を図るため、公平かつ公正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務マニュアルに基づき適正に取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	施設予約システムを活用し、利用者に公平公正に対応している。	A		
事業の継続性の担保	各種マニュアルを整備し、各自に教育している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:347日 開館時間:9:00～22:00 職員配置:22人(正社員・パート) 統括責任者1人 舞台技術7人 受付業務10人 維持管理4人 臨時職員賃金:時給900円以上 (各社規定による)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、前年度と各月で比較し、増加している。 市民が文化芸術を楽しむ機会を提供する企画を行った。	A
利用状況	【施設別利用者数】 延べ利用者数:388,885人(内訳) 大ホール:178,682人 小ホール:46,430人 展示室・サブホール・ギャラリー・会議室:79,036人 各窓口:42,071人 市民ロビー等その他:42,666人 ※前年度は実質3か月の運営であったため、比較は難しい。 参考 1～3月延べ利用者数 115,475人(前年度88,481人)	A		
運営企画	参加型事業 ・バックステージツアー ・世界のピアノを弾き比べてみよう 文化芸術を楽しむ機会を提供し、地域のにぎわいを創出するため、指定管理業務仕様書に基づき実施された。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:191,018,520円、支出:191,018,520円 人件費比率:61.3% 利用者あたり管理コスト:491円 利用者あたり市負担コスト:491円	A	事業収支は、予算見積に基づき、適正に執行された。 提案内容は着実に実施している。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	公共文化施設賠償責任保険、公共文化施設災害 補償保険、公共施設貸館対応興行中止保険 最大 身体5億円、請負賠償10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	受付案内、舞台設備保守点検、清掃、維持管理 (受電設備・消防用設備・エレベーター・電話交換 設備など)、ごみ収集・運搬、機械警備	A		
新たな取り組みの状況	立川駅南口アレアビジョン・マイテレビ及びバス広 告を利用したPRの実施、会館前広場イルミネ ーションの充実、大ホールエントランスへの内線電話 設置、会議室用拡声装置購入	A		
提案の実施状況	各種舞台公演の自主事業、舞台設備専門の技術 者の配置、緊急連絡網の整備、開館スケジュール の周知、ワンストップサービスの実施	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	研修等を実施し、実践している。 利用者アンケートの結果では、大小ホールとも、回 答者の97%が満足・概ね満足と回答。	A	各種研修を実施し、良 好な接客に努めてい る。 業務マニュアルを整備 し、それに沿って業務 を実施している。 主管課及び地域文化 振興財団との定期的 な連絡調整会議を実 施し、連携に努めてい る。	A
マニュアルの整備	ビジネスマナー・危機管理・受付・施設保全マニ ュアルを整備し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	マイノリティ対応研修、クレーム対応研修等を随時 実施している。	A		
所管部署との連携・連 絡	月1回第3水曜日に連絡調整会議を実施。 所管部署との緊急連絡網も整備されている。	A		
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを実施し、ホームページで公表し ている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	パンフレットを作成し、配布している。 ホームページでの周知を行っている。	A		
事業計画・報告書の公 表	事業計画書・事業報告書を提出している。	A		
公平・公正利用の確保	施設利用システムを活用し、公平・公正に実施して いる。	A		
業務の点検	随時実施している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に施設・設備が維持管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設保全マニュアルを整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	毎日巡回点検し、適切に管理されている。	A		
小規模修繕	大・小ホール音響備品・照明備品不具合、壁面ガラス破損、小ホール扉不具合、小ホール座席破損、駐車場スロープ段差解消工事、小ホールITV機器取替え	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適正に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	利用申し込みの管理の徹底等、個人情報の適正な取り扱いを指導している。	A	適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は金庫等に保管している。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	各種マニュアルを整備し、各自に教育している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定を整備している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	大ホールの温度・湿度管理が適切に行えず、出演者、鑑賞者にとって快適な環境を提供できなかった。	B	担当者の業務習熟度不足により、苦情につながった事案があった。教育を徹底し、再発防止に努められたい。 危険予知については、特に注意をしている。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	危険予知活動表を作成し、未然の事故防止に努めている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危険予知活動表を活用し、事故防止対策に取り組んでいる。 市や子ども未来センター、地元警察と情報共有して不審者対応を行った。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	利用者懇談会やバックステージツアー、中学生職場体験の受入れなどの実施により、地域との連携、意見交換に努めている。	A	地域や関係機関との連携に努めている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	利用者の利便性向上及び施設美観維持のため、駐輪場に白線を引く工事を実施した。	A	利用者の利便性向上に寄与した。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	51,012,954円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
<p>平成26年度は、平成26年1月のリニューアルオープン後、初の通年運営となった。前指定管理者である立川市地域文化振興財団の適切なアドバイスもあり、施設管理や受付業務については特に大きな問題なく行われている。冬季のイルミネーションや広告媒体を利用したプロモーション等、施設の価値向上に寄与する取組を実施しており、評価できる。</p> <p>指定管理者が実施する自主事業については、広告宣伝期間が短かった影響で集客が少なかったものがあつた。より計画的な事業運営が求められる。</p> <p>隣接する子ども未来センターとの一体的活用を一層図りながら、南口周辺地域の活性化に寄与する施設として管理運営をしていくことを期待する。</p>		A	<p>施設の周知やイメージアップに努め、利用者数の増加につながっている。</p> <p>施設所管課及び前事業者との連携も密に行われており、仕様書等の水準に達している。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成26年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市子ども未来センター	プロポ後の非公募	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日から平成36年3月31日（11年4か月）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	施設全般の管理運営に関する業務・自主事業	地域文化課	A	A
2	子育て支援業務	子育て推進課・ 子ども家庭支援センター・保育課	A	A
3	市民活動支援業務	協働推進課	A	A
4	文化芸術活動支援業務	地域文化課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

各業務について、仕様書等に基づいて概ね適切に運営されている。

子育て支援業務についてはB評価となった項目もあるが、ニーズに応じて順調に利用者数を伸ばしていること、改善に向けて努力する姿勢が見られることから、今後に期待したい。

市民会館との一体的活用や更なるにぎわい創出に向け、引き続き、効率的かつ効果的な施設運営に努められたい。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター		非公募・特命	地域文化課
指定管理者名		指定管理期間	
合人社計画研究所グループ		平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称		事業担当課
1	施設全般の管理運営に関する業務・自主事業		地域文化課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、公共サービスが円滑に提供されている	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解している	業務マニュアルの作成・更新を行った	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、公平・公正に対応するよう予約システムを運用している	A		
事業の継続性の担保	各種マニュアルを整備し、各自に教育している	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:358日(まんがぱーくは365日) 開館時間:8:30～22:00(まんがぱーくは夏休み期間中1時間営業時間を延長) 職員配置:正社員及び臨時職員 10人 臨時職員賃金:時給1,000円 S評価・・・提案を超えて開所時間を延長	S×1 A×4	基本的事項については、概ね計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 前年度と比較し、利用者数は大きく伸びている。 まんがぱーく大市は、施設の事業として定着しており、周辺地域のにぎわいづくりに貢献している。 提案項目については、着実に実施されている。	A
利用状況	【利用状況】 ()内は対前年度比 利用者延べ人数 335,124人(132.9%) 【内訳】施設貸出利用者数 69,703人(114.7%) まんがぱーく利用者数 67,212人(153.1%) 広場イベント来場者数 34,500人(101.5%) 広場来訪者数 48,417人(179.9%) 駐車場利用者数 115,292人(133.2%)	A		
運営企画	まんがぱーく大市、商店街連携イベント(つまみぐいウォーキング、さかなクンイラスト展、ポイントラリー等)、各種団体との連携イベント、まんがぱーく半額券を配布するキャンペーン、漫画コンシェルジュの設置等 S評価・・・シニアへのまんがぱーく無料券配布	S×1 A×11		
事業収支 経営状況分析指標	収入:47,073,960円、支出:47,073,960円 ※指定管理料同額 人件費比率:48.4%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	請負賠償責任保険(子ども未来センター全体が対象) 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	清掃、機械警備、建物定期点検、各種設備保守	A		
新たな取り組みの状況	赤い公園ベンチ設置、アニメタイアップ自動販売機設置、芝生広場排水工事、防犯カメラ増設、まんがぱーくカフェと地元飲食店との連携、まんがぱーく閲覧スペース拡大・図鑑コーナー等新設	A		
提案の実施状況	集客力のある自主事業を開催(立川まんがぱーく大市の開催)	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	マナーマニュアルに則り、笑顔の接客に努めている。利用者アンケートでは満足・おおむね満足が85%以上となっている。	A	職員の対応は良好に行われており、運営開始当初課題であった受付のレベルも改善している。 各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化が図られている。	A
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議を実施している。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等を記載している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページにて公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成、配布した。ホームページで施設利用案内、行事案内を行った。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築できている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 防犯対策を強化し、保安・警備を行っている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。S評価・・・毎日の巡回点検により、チェーンやネット、防犯カメラを追加設置し、防犯対策を強化した。	S×1 A×2		
小規模修繕	地下スタジオ倉庫扉破損、広場散水栓取り替え、トイレ詰まり、トイレ壁紙貼り替え	A		
備品管理	備品台帳を作成し適正に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A	個人情報保護規程を制定し、概ね、適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、鍵付の書庫等に保管している。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	5件の事故があったが、適切に対応された。 ・駐車場内の柵に、利用車両が追突 ・駐車場内で、タクシーが駐車中のトラックに接触 ・不審者による子どものお菓子の強奪 ・テラスに設置されている自動販売機が放火被害にあった(2回)	A	事故等に対しては適切に対応した。	A
事故の予兆に対する対応	速やかに施設関係部署及び警察・消防・病院等に連絡を行う。		マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	落雷による全館停電(10秒程度で復旧)			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、周辺関連機関への連絡体制を整備している。 避難訓練(1回)を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	南口商店街連合会との意見交換や懇親会の実施、市や商工会議所との意見交換、地域のにぎわい創出のための人的資源や場所の提供、毎月施設周辺のゴミ拾い清掃を実施	A	地域との連携に力を入れて取り組んでおり、地元からの信頼を得てきている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
施設の利便性向上と利用を促進	わんぱく相撲東京都大会、立川駅開業125周年イベントへの協力、地域サイクリングチームへの協力、錦みよし会と連携し諏訪祭りの中継地点として施設を開放、まんがぱーく年間パスポートの販売開始 S評価・・・市内中学校の職場体験への協力	S×1 A×5	社会貢献、地域貢献として評価できる活動に取り組んでいる。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
施設の保全業務については仕様書等に基づいて適切に行われている。施設貸出をはじめとする施設運営については、大きなトラブルもなく、おおむね良好である。引き続き、利用者目線に立った運営が求められる。まんがぱーく大市を中心としたにぎわい創出への取り組みは、商店街、教育機関、市民団体等との連携協力の下、意欲的に実施されている。また、当該施設を拠点に市民団体が商店街との連携事業を実施するなど、立川駅南口周辺地域のにぎわい創出という本事業の主要な目的を果たすべく機能し始めている。市民会館との施設の一体的活用について、特筆すべき成果が見られないため、創意工夫をこらした事業の実施が求められる。		A	まんがぱーく大市をはじめとした各種取り組みが成果を上げている。地域との連携は進んでおり、にぎわい拠点として、施設の活用が進んでいる。施設管理については、仕様書等に基づき、適切に行われている。総合的な運営の水準は高いと判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	子育て支援業務	子育て推進課・子ども家庭支援センター・保育課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、本施設における子育て支援事業を適切に実施した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解している	職員全員で施設設置目的を確認し合い、それぞれの業務に必要な研修を実施した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	イベント等の事前告知を行い、利用者に対し公平・公正に対応するようシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	記録や話し合いによる情報共有を図り、引継ぎ期間を設け、事業の継続性を確保している。	A		
(2) 業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:347日 開館時間:8:30～17:00(子育て支援事務室は、提案よりも、平日1時間、土日30分開館時間を延長) 職員配置:正職員及び臨時職員 21人 臨時職員賃金:時給1,000円～1,250円	A	基本的事項については、概ね実施計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は前年度よりも着実に増加している。	A
利用状況	【利用状況】 ()内は対前年度比 利用者延べ人数 31,366人(121.5%) 【内訳】 一時あずかり保育 2,173人(148.8%) 子育てひろば 20,829人(118.8%) 支援啓発 8,358人(122.6%)	A		
運営企画	親子サークル、子育て講座・子育て支援講座、市民会館小ホールでの人形劇、入れ立ち会議への参加・協力、ボランティアによるサークル・講座等の見守り保育、環境フェアへの協力、父親向けイベント、誕生会、ひろば壁面の季節の装飾、各種講座、芋ほり、花壇作り B評価・・・子育て情報紙の設置遅れ	A×13 B×1		
事業収支 経営状況分析指標	収入:66,080,880円、支出:66,080,880円 ※指定管理料同額 人件費比率:86.5%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	団体総合補償制度費用保険 支払限度額:300万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	印刷業務、丁合・製本業務	A		
新たな取り組みの状況		—		
提案の実施状況	子育て支援につながる講座・イベント等 一時あずかり保育 子育てひろば	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇研修を実施し、マニュアルに則り対応しているが、改善の余地がある。 B評価・・・挨拶・応対等、電話対応・接客対応等	A×3 B×2	接遇については苦情もあり、改善の余地がある。市民の気持ちに寄り添った対応を心掛けられたい。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化をはかっている。 公平・公正な利用システムが構築されている。	B
マニュアルの整備	ビジスマナー・危機管理・一時あずかり保育・子育てひろばマニュアルが整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	連携・連絡体制を整備している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内掲示にて公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットや通信を作成し、配布している。ホームページでも施設利用案内を周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
業務の点検	行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外。	—	備品管理は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外。	—		
保安・警備	評価対象外。	—		
小規模修繕	評価対象外。	—		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A	過去にも同様の誤送信が起きており、繰り返し職員への注意喚起と厳重な指導が必要である。	B
個人情報等秘密の保持	メールの誤送信により、利用者名を他の利用者へ知らせてしまう事案があった。	B		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、鍵付きの書庫などに保管している。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適時研修を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルは整備されているが、職員へのルールの徹底は不十分であった。	B		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	対応についての苦情が市に寄せられることがあった。 大きな事故等は特になかった。	B	特に大きな事故はなかったが、職員対応については課題も見られた。	B
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	保護者が保育室へ入室した際、ゲートが閉まっておらず、2歳児が保育室の外へ出てしまった。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、災害時の避難対応・不審者対応などの取り組みを行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
くるりん農園 養蜂準備	・土を耕し花や野菜を育て、利用者親子と収穫をした。 ・花壇にひまわりやくるりんの形の花を植え、地域の方々に喜ばれた。	A	花壇については、見映えに改善の余地がある。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
【支援啓発】 子育て支援啓発事業全般としては、概ね仕様書に定められた水準に達しているものの、一部の項目で複数のB評価があった。今後の改善に期待する。 内容は軽微であったが、メール誤送信による個人情報取扱の不備があった。再度、職員教育の徹底をお願いする。 事務室での接遇対応や一時預かり対応については、市民からの苦情も多い。手本となる職員の育成と、職場の意識向上を望む。 花壇については、必ずしも見映えが良いとは言えない状況となっている。今後の花壇のあり方について早急に検討願いたい。		A	地域の子育て支援の拠点として、種々の取り組みを行い、利用者は増加している。 接客対応や個人情報管理等の面では課題も散見され、改善が必要である。	A
【子育てひろば】 子育てひろばでは、日々の運営に加え支援が必要な親子への対応力も上がってきている。今後、直営ひろばとの差を埋めていくためにも、親子が抱える課題と必要な支援を判断できる体制と、他機関との連携をマネジメントしていく体制の整備が望まれる。			運営に大きな支障をきたしていることはないが、全体としては改善の余地がある。今後の取り組みに期待することとし、総合評価A評価とする。	
【一時預かり保育】 一時預かりに関する職員の対応については、市民からの苦情が多い。利用者は増えているものの、より丁寧な対応をお願いしたい。 特に、子どもの受け入れ、お迎え時は、子どもの状況を相互に共有し保護者に寄り添った接遇ができるよう、現場で母子が抱える課題と必要な支援を判断し指示できる職員、現場に共感する能力が高い職員の配置を望む。				

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター		非公募・特命	地域文化課
指定管理者名		指定管理期間	
合人社計画研究所グループ		平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称		事業担当課
3	市民活動支援業務		協働推進課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、本施設における市民活動支援機能が円滑に提供されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解している	定期的な研修、教育を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	募集要項に則り、公平に利用登録を行っている。また、5つの活動コンセプトに沿ったプログラムか判断し実施サポートしている。	A		
事業の継続性の担保	全てのコーディネーターに業務内容を安定的に実施するための教育体制をとっている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:358日 開館時間:9:00～21:30 職員配置:正職員 3人	A	基本的事項は、計画通り実施されている。 協働事務室利用者数や市民活動プログラム実施数と参加者数は、前年度と比較し、大幅に増加している。登録団体数については、さらなる取り組みの余地がある。 登録団体懇親会を実施し、団体同士のつながりづくりにも取り組んでいる。 提案項目については、着実に実施されている。	A
利用状況	【利用状況】 ()内は対前年度比 プログラム実施数 315件(211.4%) 利用者数 10,529人(213.7%) 〔内訳〕 協働事務室 2,535人(160.9%) プログラム 7,994人(237.6%)	A		
運営企画	登録団体懇親会の実施(5回) ミニワークショップの実施(4回) DIY講座の実施(2回)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:18,040,320円、支出:18,040,320円 ※指定管理料同額 人件費比率:54.0%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	行事参加者にかかわる傷害保険 支払限度額:1事故500万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	第三者への委託は行っていない。	—		
新たな取り組みの状況	ミニワークショップの実施(4回) DIY講座の実施(2回) マンガをテーマにした合同イベントの開催(1回)	A		
提案の実施状況	市民活動プログラムの広報・実施支援、市民参加促進ネットワーク構築事業、市民ボランティア活動支援、市民活動支援協議会の運営、市民活動関連施設等の貸出・管理・運営、活動者数・利用者数の把握、登録団体合同イベントの企画 S評価・・・市民活動プログラム実施数	S×1 A×7		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適時教育を実施しながら対応。プログラム実施団体からは、非常に高い評価を受けている。	A	利用者への対応は良好であり、利用者アンケートでも高い評価を得た。 各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化を図っている。	A
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	年1回の社内研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	月1回の連絡調整会議、分科会の他にも適時電話、メールでの連絡・調整を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	プログラム参加者、プログラム実施団体に対してアンケートを行い実施団体に公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市民活動支援機能パンフレット、プログラムのカレンダーなどを発行、またホームページでも周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	募集要項に基づき、公平な利用登録を行っている。	A		
業務の点検	毎週定例会を実施し、業務の点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—		
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	評価対象外	—		—
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	評価対象外	—		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A	個人情報保護規程を整備し、適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、厳重に保管している。	A		
再委託の禁止	業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	—	特に大きな事故や苦情はなかった。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	評価対象外	—		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
		施設担当課評価	2次評価	
		コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	2次評価
		◆ 総合評価		
<p>市内外の市民活動団体が、市民活動コーディネーターの助言等により、前年度の2倍以上の市民活動プログラムを提供し、団体の活動が活性化した。市民活動プログラムの参加者も大幅に増加しており、にぎわい創出においても評価できる。また、登録団体同士の協働プログラムの実施支援や懇親会なども設定して、団体同士のつながりづくりも行っている。</p> <p>近隣の自治会や商店街関係者等と意見交換を実施するとともに、近隣児童館や生涯学習推進センターと情報交換を行うなど、ネットワークづくりも積極的に行っている。</p> <p>子ども未来センターの運営及び市民活動プログラム実施支援に係るボランティアの育成や活動支援を行い、個人として子ども未来センターに関わりたい人の多様な活動を支援している。</p> <p>市民活動支援協議会を設置し、登録団体や有識者の意見を活かして事業を行っている。</p> <p>市民活動関連施設等の貸出・管理・運営の中で、新たにシルクスクリーン印刷機を導入し、登録団体の活動に役立つ取組として評価できる。</p>		A	<p>市民活動団体の活性化やボランティアの育成など、さまざまな取り組みで市民活動支援に成果があった。</p> <p>施設の目的に沿った、効果的な運営がなされたと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター		非公募・特命	地域文化課
指定管理者名		指定管理期間	
合人社計画研究所グループ		平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
4	文化芸術活動支援業務	地域文化課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	評価対象外	—		—
職員が施設の設置目的を十分に理解している	評価対象外	—		
利用者の公平・公正利用の確保	評価対象外	—		
事業の継続性の担保	評価対象外	—		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	評価対象外	—	年間を通し、まんがを軸に、様々な企画が行われ、好評を得ている。 利用者数は、前年とほぼ同水準となっている。 独自性のある新たな取り組みを積極的に行い、施設の特長としてアピールにつながっている。	A
利用状況	【利用状況】()内は対前年度比 文化芸術講座参加者数 608人(98.9%)	A		
運営企画	ヴァイオリングループレッスン、子ども未来センター美術部、私の森ワークショップ、カッティングシートでセンターを飾っちゃおう、まんが絵の描き方教室、まんがかるた作り方教室、まんが編集会議ワークショップ、キャラクターデコパージュキヤンドルをつくろう、音楽を通してイメージを広げよう、毎日の生活にアロマの香りを	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:6,480,000円、支出:6,480,000円 ※指定管理料同額 人件費比率:40.0%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	普通傷害保険 支払限度額:1億5千万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外	—		
新たな取り組みの状況	ヴァイオリングループレッスン、子ども未来センター美術部、私の森ワークショップ、カッティングシートでセンターを飾っちゃおう、まんが絵の描き方教室	A		
提案の実施状況	音楽や美術、まんが絵など、幅広い文化芸術活動の支援を年間通して実施	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	マナーマニュアルに則り対応。笑顔の接客に努めている姿が見られる。	A	概ね利用者の立場に立って接客ができています。 各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化を図っている。	A
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議を実施している。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等を記載している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、月報にて報告している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内パンフレットを作成、配布した。ホームページでの周知も行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築できている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—		—
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	評価対象外	—		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	評価対象外	—		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している	A	個人情報保護規程を制定し、概ね適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、鍵付の書庫等に保管している。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	該当なし	—	マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	速やかに施設関係部署及び警察・消防・病院等に連絡を行う。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	該当なし			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、周辺関連機関への連絡体制を整備している。年に1回の避難訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		2次評価
◆ 総合評価				
<p>当施設の主要テーマの一つである「まんが」を軸に、多様なジャンルを題材に講座が実施されている。</p> <p>商店街や地域文化振興財団と連携、情報交換し、工夫しながら取り組んでいる。</p> <p>短期間に実施する多様な講座とともに、開催期間に幅があり、参加者が施設や他の参加者とのつながりの中で過ごすことができるような講座も実施されている。今後も利用者のニーズを把握しながら、蓄積されたノウハウ、ネットワークを生かし、幅のある企画実施を期待したい。</p>		A	<p>前年度より確実に取り組みを推し進め、地域の文化芸術活動拠点としての役割が大きくなってきている。</p> <p>利用者の満足度は高く、良好に運営されている。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
シンコースポーツ・山武共同事業体	平成22年4月1日～平成27年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書及び設置目的を十分に理解するために研修を行い、管理運営にあたった。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	公共施設であることを理解し、設置目的及び第3次スポーツ振興計画などの勉強会を行い理解度の向上を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	性別・年齢・国籍・障害の有無などの差別なくすべての利用者が公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	事業が安定的かつ継続的に遂行するために引き継ぎ、連絡体制を構築している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:346日 開館時間:9:00～23:00 職員配置:正社員・契約社員 13名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給890円～1,250円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 6月に市外利用者のプール使用料金を値上げしたことが影響し、利用者数が対前年度減となる月も多くあったが、年間通しては微増となった。 各種教室により、スポーツをしなかった層を取り込むことができた。 提案事項のうち、1つ以外は着実に実施した。残りの【運動型健康増進施設の認定取得】については本指定期間内での実現には至らなかった。	A
利用状況	【利用者数】 合計275,579人(前年度260,650人) 個人利用 118,490人(前年度117,512人) 団体利用 111,427人(前年度103,017人) 教室利用 45,662人(前年度 40,121人)	A		
運営企画	柔道整復師・栄養士等による健康講座、季節のイベント S評価・各種スポーツ教室	S×1 A×3		
事業収支 経営状況分析指標	収入:208,685,830円、支出:208,017,461円 事業収支:668,369円 指定管理料:142,901,224円	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	施設賠償責任保険 支払限度額:3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	プール水水質検査・簡易専用水道水検査、電話交換設備保守、自家用電気工作物保安全管理、エレベータ設備保守、建築設備定期検査、競泳用自動時計保守、吸収冷温水機保守、プール水処理設備保守、プール滅菌装置保守、空調用自動制御装置保守、ばい煙測定検査、膜屋根保守、自動券売機保守、プールクリーナー保守、清掃・害虫駆除・樹木剪定、冷温水発生機保守 等	A		
新たな取り組みの状況	スラックラインのライン追加	A		
提案の実施状況	遠隔監視システム導入、建物管理業務のWEB化、プール監視システム「POSEIDON」設置、ボルダリング設置、新規トレーニングマシン変更、物品販売、レンタルロッカー設置、スタジオ新設 等 B評価・・・運動型健康増進施設の認定取得	A×9 B×1		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	接客接遇マニュアルに基づき、対応されている。	A	職員の対応は適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 利用者アンケート結果も良好である。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	外部研修、社内研修、日常研修を積極的に実施。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは月1回会議を開催し、連絡・調整を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	定期的にご利用者アンケートを実施し、閲覧できるファイルを設置してある。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	折込チラシ、パンフレット、ホームページにより、適宜情報を発信している。	A		
事業計画・報告書の公表	規定に従い、公表している。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システム等により、公平・公正利用を確保している。	A		
業務の点検	社で定めるPDCAサイクルにて業務の改善を行い、さらに社内監査により改善に努めている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業務漏れがないようにチェックリストを作成し、適切に実施された。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき概ね適切に実施されている。 清掃時間の工夫などにより、施設の清潔保持に努めた。 施設が大規模なため修繕を要する箇所も多かったが、適切に対応された。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	汚水槽排水ポンプ交換、大便器ピストンバルブ交換、ボイラー遮断弁交換、冷温水機二次ポンプモーター交換、コンデンサ引外し電源装置交換、給湯配管部分修繕、プール採暖室扉ハンドル交換、駐輪場グローブ灯交換	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	内部監査員による調査・監督を行っている。	A	個人情報保護マニュアルに基づき適切に実施された。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護条例を十分に教育・理解し業務を遂行している。	A		
適正な管理	全スタッフと個人情報に関わる同意通知を結び防止策を講じている。	A		
再委託の禁止	主要な業務は共同事業体により実施し、第三者への委託は限定されている。	A		
研修・教育の実施	社内研修及び施設内での日常的な教育を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報マニュアルを整備している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	以下の事故・苦情があったが適切に対応された。 ・施設利用者以外の駐車場利用への対応を求める要望。 ・教室中に転倒。その日はそのまま帰宅したが、後日骨折が判明。 ・夜間バスケットボール等の騒音への苦情。 ・プール市外料金値上げについての苦情。	A	事故防止や事故への対応は、適切に行われた。 意見・苦情に対しても、丁寧な対応がなされた。	A
事故の予兆に対する対応	毎日の朝礼・終礼などで対応策を確認。蓄積・共有することにより事故の未然防止・施設の安全に役立っている。月1回の社員ミーティングでも確認。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・台風接近のため、営業時間の短縮 ・プール利用者同士の喧嘩			
事故防止対策の取り組み状況	安全管理マニュアルや日常の救助訓練を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の方や来館者と積極的なコミュニケーションが図られている。 調整会議を開催し、体協との連携に努めている。 体協を通じた地域への優先貸出(第2・4月曜日) 自主的に根川緑道のゴミ拾いを行っている。	A	近隣住民への配慮や、体育協会との連携が図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
選挙開票	選挙開票使用時に管理及び設備員の配置を行った。	A	他の事業に対しても協力的に対応した。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	5,570,660円の削減。(平成20年度決算との比較) この他、665,314円の市への納付金あり。	A	導入前と比較し経費削減されている。	A

施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価	
◆ 総合評価				
<p>指定管理期間最終の26年度は、25年度に行われたプール屋根補修工事の反動増が見込まれていたが、6月からのプールの料金改定(市外利用者が400円から800円に値上げ)により、もともと市外利用者の割合の高い同体育館は大きな影響を受け、結果として、対前年度比5%増の約27.5万人に落ち着き、直営時(21年度)と比べて35%の利用者増となった。特に、自主事業である新規のスタジオ教室は、スポーツニーズを捉えた教室展開がなされ、開始直後から一貫して好調に推移し、サービス質向上の象徴として大きな役割を担った。</p> <p>全体として、施設管理面も含め、堅調に事業運営が行われたため、A評価とする。</p> <p>なお、27年度に指定管理者が変わることに伴い、業務引継に関する各種費用が必要となり、事業収支を圧迫することとなってしまったが、円滑に新指定管理者に引き継ぐことができた。シンコースポーツ・山武共同事業体の真摯な対応を評価したい。</p>		A	<p>プールの市外料金改定による利用者数への影響や苦情など、難しい対応が求められる要素もあったが、適切に対応した。</p> <p>利用者アンケートの結果からもサービスの質の高さがうかがえる。</p> <p>指定期間満了まで良好に運営し、新事業者への引継ぎも円滑に行ったことを評価し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市泉市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
シンコー・立川体協・アズビル共同事業体	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書及び設置目的を十分に理解するために研修を行い、管理運営にあたった。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	公共施設であることを理解し、設置目的及び第3次スポーツ振興計画などの勉強会を行い理解度の向上を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	性別・年齢・国籍・障害の有無などの差別なくすべての利用者が公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	事業が安定的かつ継続的に遂行するために引き継ぎ、連絡体制を構築している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:330日 開館時間:9:00～23:00 職員配置:正社員・契約社員 7名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給890円～1,250円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
利用状況	【利用者数】 合計317,397人(前年度239,723人) 個人利用 119,295人(前年度84,983人) 団体利用 174,052人(前年度138,967人) 教室利用 24,050人(前年度 15,773人)	A		
運営企画	ロコモティブシンドローム予防講座(運動・料理・講座)、各種スポーツ教室、季節のイベント	A	利用時間の拡大、スタジオ・ボルダリングの新設などにより、利用者数は全体で前年度より3割強の増となっている。	A
事業収支 経営状況分析指標	収入:193,799,325円、支出:194,067,302円 事業収支:▲267,977円 指定管理料:127,337,142円	A	収支は、指定管理初年度の初期費用によりわずかにマイナスとなったが、自主事業の物販が好調であり、70万円程度の市への納付金が確保された。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	施設賠償責任保険 支払限度額:3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	各種教室により、スポーツをしなかった層を取り込むことができた。	
第三者への委託状況	プール水水質検査・簡易専用水道水検査、電光得点表示システム保守、自家用電気工作物保安点検、直流非常用電源装置保守、冷温水機保守、ボイラー保守、ポンプ類保守、空調機PAC等保守、水槽類設備清掃、消防用設備保守、プール濾過装置保守、プール水殺菌装置保守、エレベーター保守、自動ドア保守、建築設備定期検査、清掃、廃棄物処理、機械警備、電話交換機設備保守、放送設備保守、樹木せん定	A		
新たな取り組みの状況	プール空調機用温水ポンプの自動化 S評価・・・プール浄化剤アクアピル使用	S×1 A×1		
提案の実施状況	遠隔監視システム導入、建物管理業務のWEB化、ボルダリングの設置、新規トレーニングマシンへの変更、物販・レンタル、自動販売機設置、スタジオ新設、運動型健康増進施設の認定取得、プール監視システム「ポセイドン」設置	A	提案事項は着実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	接客接遇マニュアルに基づき、対応されている。	A	アンケート結果からも、職員の対応は適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	外部研修、社内研修、日常研修を積極的に実施。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは月1回会議を開催し、連絡・調整を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	定期的に利用者アンケートを実施し、結果をホームページで公開した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	折込チラシ、パンフレット、ホームページにより、適宜情報を発信している。	A		
事業計画・報告書の公表	規定に従い、公表している。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システム等により、公平・公正利用を確保している。	A		
業務の点検	社で定めるPDCAサイクルにて業務の改善を行い、さらに社内監査により改善に努めている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業務漏れがないようにチェックリストを作成し、適切に実施された。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき概ね適切に実施されている。 修繕も適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	自動火災報知機、プールロボットアクアキング、プール更衣室PAC室内機洗浄、卓球台、自動カーテン、プール水殺菌装置基盤、ランニング走路街灯安定機交換、2階トレーニング系統PAC加湿器フローチャート交換、BGMアンプ、バレーボール用ネット、プール排水管、プール空調機フィルター交換、プール床面剥離作業、火災受信盤用予備電池交換、体育室時計、プール水残留塩素測定センター交換、体育室誘導灯交換、プール系統空調機ファンベアリング交換、音響設備設置・配管工事、空調機設置	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	内部監査員による調査・監督を行っている。	A	個人情報保護マニュアルに基づき適切に実施された。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護条例を十分に教育・理解し業務を遂行している。	A		
適正な管理	全スタッフと個人情報に関わる同意通知を結び防止策を講じている。	A		
再委託の禁止	主要な業務は共同事業体により実施し、第三者への委託は限定されている。	A		
研修・教育の実施	社内研修の実施及び施設内での日々の教育を実施を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報マニュアルを整備している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	以下の要望・苦情があったが、適切に対応された。 ・カーテンの故障への対応を求める要望 ・体育室へのエアコン設置を求める要望 ・接客対応に対する不満(2件)	A	苦情や要望への対応や事故防止は、適切に行われた。	A
事故の予兆に対する対応	毎日の朝礼・終礼などで対応策を確認。蓄積・共有することにより事故の未然防止・施設の安全に役立っている。月1回の社員ミーティングでも確認。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	台風接近のため、営業時間の短縮			
事故防止対策の取り組み状況	安全管理マニュアルや日常の救助訓練を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の方や来館者と積極的なコミュニケーションが図られている。 体協を通じた地域への優先貸出(第2・4月曜日)自主的に六中、砂川高校、泉野球場付近のゴミ拾いを行っている。	A	地域に配慮した取り組みを行っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
休館日電話対応 節水コマ設置 魅せるスポーツの創出 トップアスリートによる ジュニア育成教室	休館日の電話メッセージによる案内、シャワーと蛇口を節水退部に変更 S評価・・・プロバスケットボールリーグの公式戦を4試合実施、元日本体操協会ナショナルコーチ指導による器械運動教室の開催	S×2 A×2	問合せ対応の負担軽減や経費削減につながった。 スポーツ振興や競技力の向上に寄与した。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	8,182,840円の削減。(平成25年度決算との比較)この他、722,400円の市への納付金あり。	A	導入前と比較し経費削減されている。	A

施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価
◆ 総合評価		評価理由等	
<p>指定管理者導入初年度ではあるが、利用時間の拡大をはじめ、水着販売やレンタルロッカー設置、スタジオ教室やボルダリングの新設、トレーニングマシンの全面リニューアル等、数々の事業を行い、サービスの質が大幅に向上し、利用者も全体で3割強の増加となった。特に、トレーニング室については、3区分入替制の廃止により利便性が向上し、利用者が2倍以上に増加した。また、騒音の心配のない立地ゆえ、体育室についても、フットサルやバスケット・バレーボール等による夜区分の稼働率の高さが際立ち、このことはスポーツ実施率に低いといわれる20～30代のスポーツの実施に大きく寄与している。</p> <p>施設の維持管理についても、日々の適切な取り組みに加え、プール浄化剤アクアピル使用や節水コマ導入等の数々の施策により、光熱水費削減と快適性(プール水の透明度)の向上を果たしている。</p> <p>泉市民体育館は、事務室を市スポーツ振興課と共用しているほか、館内の諸施設を市直営事業で無料で優先使用するなど、指定管理者にとって制約の多い環境である中で、市との連携を密にしつつ体育館の運営実績を伸ばせたこと、並びに、体育協会傘下のバスケットボール協会と連携してプロバスケットボールリーグの試合を誘致し、魅せるスポーツを創出したことは大いに評価できる。</p> <p>今後は、体育協会傘下の各種競技団体の協力による球技系スポーツ教室のさらなる展開や、比較的余裕のあるプールでの事業展開が期待される。</p>		A	<p>指定管理者導入初年度。</p> <p>利用時間の拡大や、スタジオ・ボルダリングの新設などにより、利用者数の大幅増を実現した。</p> <p>市担当課と密に連携し、市のスポーツ施策に貢献した。</p> <p>運営、施設管理等については、良好に行われておりA評価とする。</p>

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日に会議を行い、設置目的や運営事項を確認した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合いや利用案内の配布、使用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職、異動に際し、引き継ぎの期間を設け、業務が正常に継続されるよう配慮している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：334日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤4名、非常勤5名(内1名は夜間対応職員) 非常勤賃金 時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は前年度より微減となった。 多様な運営企画が実施され、多数の参加があった。 提案の実施状況について、前年度に未実施となっていた学習ひろばも夏休みに実施され、全ての提案が着実に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】 合計25,454人(前年度26,103人) 個人利用 22,817人(前年度23,871人) 団体利用 1,531人(前年度1,206人) 館外行事 1,106人(前年度1,026人)	A		
運営企画	親子参加型企画、子どもの日企画、宿泊企画、子ども実行委員会、地域との連携、近隣学校との連携、乳幼児事業	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：35,339,706円(指定管理料) 支出：34,213,499円 事業収支：1,126,207円 人件費比率 77.2% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、館内窓ガラス清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、樹木せん定、非常通報装置保守管理	A		
新たな取り組みの状況	児童館ファミリーカフェ、保育園出前ひろば、児童館対抗ドッジボール大会	A		
提案の実施状況	畑づくり、ひだまりカフェの拡充、ランチタイム、料理教室、学習ひろば、その道を極めよう教室、子育て講座、保護者向け学習会、企業向け出張講座	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 ホームページについては、早期の開設が望まれる。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	各種研修会・会議等へ積極的に参加し、館内で情報共有した。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	1月中旬より実施。結果を館内に掲示した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットを発行している。また、市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページ立ち上げに向けた準備を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	各種会議、交流会等にて周知に努めている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	防火扉の修繕、外灯修繕	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、事業本部、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理し、データはパスワードで保護している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修を実施 各現場の事例検討研修実施	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の事故があったが、適切に対応された。 ・子どもの喧嘩が保護者同士の話し合いに発展 ・強風による外灯のカバーガラス破損 ・利用児童による隣地住宅のガラス破損 ・子ども同士の喧嘩による怪我	A	隣接の公園での事故対応もできる限り行っており、施設内・公園内の事故とも特に問題なく対応した。	A
事故の予兆に対する対応	1階遊戯室の床が滑りやすく、怪我につながる恐れがあったため、裸足で遊ぶよう声かけ、床を水拭きするなどして対応した。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・子どもが見慣れないゲームソフトを持ち帰ろうとしていたの で、所有者の確認をしたところ、返答が曖昧であった。 ・退勤時の館内暖房の切り忘れ。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや職員会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 児童館単独での避難訓練の実施。自治会との共催での防災訓練を企画。不審者対応については随時確認。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域懇談会の開催や、公園の清掃等を通じ地域との関係を築いている。 また、地域の行事や会議に積極的に参加し、地域の児童館として役立っている。	A	地域住民との連携が進められている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	4,037,415円の削減。(平成20年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>毎年、各種機関との連携・協力が増えている、また、企業からボランティアを受け入れるなど企業との連携も少しずつではあるが始まっている。</p> <p>多数の地域の会議などに参加することにより、多くの地域行事に参加し、また、共催行事を実施し交流を深めた。</p> <p>平成21年度指定管理者移行当初から、隣の公園の清掃を毎日行い、周辺住民との関係作りに努め、また、公園で遊んでいる児童のトラブルにも対応している。同時に、公園での夜遊びやごみに関しても、児童館へ苦情が寄せられているが、付近の見守り等可能な限り対応している。</p> <p>子どもの居場所確認の連絡が保護者よりしばしばあり、外で遊ぶときはとりあえず児童館へ、とわが子に伝えているという声もあり、地域の居場所としての役割が大きくなっている。</p>		A	<p>館の管理・運営だけでなく、清掃活動などを通じ地域に溶け込んでおり、地域の児童館として、認知が広がっている。</p> <p>利用者数は減少となったが、適切に管理運営されたと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達成している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日に会議を行い、設置目的や運営事項を確認した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合いや利用案内の配布、使用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職、異動に際し、引き継ぎの期間を設け、業務が正常に継続されるよう配慮している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は21:30まで) 職員配置: 常勤3～5名、非常勤3～5名(上期) 常勤5名、非常勤3名(下期) 非常勤賃金: 時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は前年より減となった。 多様な運営企画を実施され、多数の参加があった。 提案された事項は着実に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】 合計24,973人(前年度26,043人) 個人利用 22,495人(前年度23,353人) 団体利用 668人(前年度 737人) 館外行事 1,810人(前年度1,953人)	A		
運営企画	子どもの日企画、宿泊行事、季節行事、地域との連携、子ども実行委員会、高松学習館との連携行事、他児童館との合同行事、中高生企画、高松会館との連携行事	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入: 34,610,921円(指定管理料) 支出: 34,610,751円 事業収支: 170円 人件費比率 78.4% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	窓ガラス清掃、害虫駆除、非常通報装置、じゅうたん清掃	A		
新たな取り組みの状況	二小放課後子ども教室、ハロウィンやお泊り会での商店街との連携、近隣福祉作業所による工作教室	A		
提案の実施状況	食育事業(緑のカーテンサポート隊、ランチタイム等)、小学生支援(工作週間等)、中高生支援(大型行事の手伝い等)、親支援(ベビーマッサージ講座等)、多世代交流事業、商店街・会館・学習館祭りとの連携	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 ホームページについては、早期の開設が望まれる。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、清掃マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	内外の各種研修に参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内を作成し、常時設置している。 市ホームページにおたより掲載。児童館独自でホームページ立ち上げに向けた準備を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるようになっている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	トランポリン修繕	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施 各現場の事例検討研修実施	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の苦情があったが適切に対応された。 ・工作週間開催時間の問合せに対し「子どもが集まり次第開始」と答えたが、来館した時にはすでに終わっていたとの苦情。 ・子どもが職員から暴力を受けたとの苦情(調査の結果、職員ではなくボランティアであることが判明)。	A	安全管理は適切に行われている。 苦情については適切に対応された。	A
事故の予兆に対する対応	体を動かすときは滑らないように靴下を脱ぐように促す、卓球台やトランポリンの周りでは走らないように注意するなどしながら見守りを行った。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・トランポリン未固定での使用。 ・トランポリンから飛び降りた際、ほかの子どもとぶつかる。 ・小学生がピアノいすから勢いよく降りたため、乳幼児の近くにいすが倒れる。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや職員会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 避難訓練を実施、地域の防災訓練に参加。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域懇談会の開催や、高松会館、学習館、商店街との連携に努めている。 火ばさみ隊によるゴミ拾いなどにより、地域に貢献している。	A	地域と情報交換をし、連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
児童館の有効活用	屋上での緑のカーテンづくり。	A	積極的に事業展開に努めている。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	5,706,074円の削減。(平成22年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
26年度はエコキャンドル作り、お泊会での銭湯や高松学習館文化祭、曙子連祭り等を通じて商店街や地域との連携に取り組んだ。また、二小放課後子ども教室との連携など、新たな取り組みも実施した。 地域団体の会議に積極的に参加し、商店街との連携、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。 乳幼児親子の事業にも力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。 以上のように、新たな事業を実施し、安定的な運営が行われている。		A	出張児童館や放課後子ども教室との連携等、積極的に地域に出ていく運営がなされた。 利用者数は微減となったが、地域に根差した児童館として着実に運営されていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成26年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日から平成30年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	若葉児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	若葉学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成25年度から、児童館と併設学童保育所を一体として指定管理者制度を導入した。

若葉児童館は日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、若葉学童保育所も土曜日の延長保育を実施した。

児童館で個人情報の管理に一部不手際があったが、ともに安定した運営に取り組んでいる。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
1	若葉児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日に会議を行い、設置目的や運営事項を確認した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合いや利用案内の配布、使用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	会議や研修を通し、事業の継続性を確保した。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤3名、非常勤5名 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。 利用者数は前年度より減となった。 多様な運営企画が実施され、中身の充実が図られた。 提案内容については、着実に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】合計21,674人(前年度24,788人) 個人利用 20,342人(前年度22,034人) 団体利用 821人(前年度 851人) 館外行事 511人(前年度1,903人)	A		
運営企画	子連との共催(ストラックアウト)、連風作りと連風あげ大会、子ども実行委員(夏祭り)、地域との連携(ハロウィンパレード)、多世代交流(猿回しショー)、ドッジボール大会、鯉のぼり作成、防災イベント(起震車体験)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:51,446,027円(指定管理料) 支出:50,775,607円 事業収支:670,420円 人件費比率:80.0% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、非常通報装置保守、樹木せん定、建築設備定期検査、カーテンクリーニング	A		
新たな取り組みの状況	乳幼児親子支援(わんぱく子どもフェスタ、英語でリトミック、食育ひろば)、館対抗ドッジボール大会	A		
提案の実施状況	食育講座、子育て講座、妊産婦講座・座談会、遠足、風作り・藍染め、季節にちなんだ工作、クッキング、スポーツフェスタ	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 ホームページについては、早期の開設が望まれる。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	各種研修会・会議等へ積極的に参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	アンケートを実施し、結果を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内を発行している。 市ホームページへのおたより掲載。児童館独自ホームページ立ち上げに向けた準備を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者すべてが平等に利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	館庭の外灯破損	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認	A	個人情報の適正な管理については、職員への徹底が不十分である。速やかに改善されたい。	B
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報漏えいにつながり得る事案が2件あった。 ・経過記録の原本紛失 ・個人情報の入ったUSBメモリの紛失	B		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施 各現場の事例検討研修実施	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	大きな事故等は特になかった。	A	安全管理については適切に対応されている。 児童館と合同で防災訓練、避難訓練を実施している。	A
事故の予兆に対する対応	事故等の事例については、職員会議等で共有し、清掃時など細かい箇所まで点検することを徹底している。 2階の窓の手すり部分に子どもが身を乗り出すなど危険な様子が見られたため、見回り等にて対応した。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや職員会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 起震車を呼び、防災訓練、避難訓練を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	常に地域との連携に努めている。 あいあいパトロールや挨拶運動にも参加している。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		-		-
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	3,675,722円の削減。(平成20年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>若子連との共催でお楽しみ会、ホリデースクールとの連携事業として連風作りと連風上げ、地域との連携としてハロウィンパレードで地域のお店や交番に衣装を着て訪問するなど、地域との交流・連携に取り組んだ。 地域団体の会議に積極的に参加し、商店街との連携、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。 乳幼児親子の事業にも力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。 以上のように、新たな事業も実施しながら、安定的な運営が行われている。</p>		A	<p>利用者数は前年度より減少となったが、新たな事業を展開しながら、積極的な運営に努めた。 個人情報管理には大きな課題が見られ、早期に改善されることを望む。 総合的には管理・運営状況は一定の水準にあると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	若葉学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月学童団会議、随時児童館・学童保育所の合同団会議において、設置目的や運営事項を確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職、異動に際し、引き継ぎの期間を設け、業務が正常に継続されるよう配慮している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：244日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤2名、非常勤5名 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 提案内容については、概ね実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】 定員数 46人 延べ利用人数 8,118人(前年度7,525人)	A		
運営企画	入所歓迎会、お誕生日会(毎月)、工作、児童館行事(夏祭り)、スポーツ大会、卒所・進級を祝う会、おたのしみランチ	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(若葉児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(若葉児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	児童館夏まつりにボランティアとして参加	A		
提案の実施状況	児童館行事への参加、地域懇談会への参加、子育て広場への参加、児童館との連携行事、地域のボランティア活動への参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それにそって業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	内部・外部の研修、会議などへ積極的に参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内を設置。 市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	年間事業計画を利用者に配布。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	若葉児童館にて一括して実施。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修、各現場の事例検討研修を実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の事故・苦情があったが適切に対応された。 ・間食費の口座引き落としの際に、前年度在籍児のリストで引き落とした。 ・間食費の返金措置の際、10円不足する誤りがあった。	A	事故、苦情に対しては適切に対応されている。 大事には至らなかったが、事務処理ミスについては、再発防止に努められたい。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	児童館夏祭り後に停電が発生。子どもがパニックになるも、指導員が冷静に対応し、事故につながることなく収まった。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや職員会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 毎月、避難訓練を実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域との連携に取り組んでおり、近隣高齢者施設へのボランティアなども行っている。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	若葉児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		2次評価
◆ 総合評価				
<p>月毎に誕生日会、スポーツ大会、工作教室、季節行事としてお楽しみランチ、伝承遊びとして昔遊び、父母会共催行事として卒所・進級を祝う会等の行事を実施した。</p> <p>また、夏まつりなど児童館行事や子育てひろばへの参加や、合同避難訓練などが連携して行われた。地域との連携については、児童館地域懇談会での学童保育所の活動報告や意見交換が行われた。</p> <p>土曜日の延長保育も実施され、安定した運営に取り組んでいる。</p>		A	児童館との併設のメリットを生かしながら運営されており、仕様の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成26年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日から平成30年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	西砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	松中学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成25年度から、児童館と併設学童保育所を一体として指定管理者制度を導入した。

西砂児童館は日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、松中学童保育所も土曜日の延長保育を実施するなど、ともに安定した運営に取り組んでいる。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
1	西砂児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ガイドラインやマニュアル、事業計画に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項を確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合いや利用案内の配布、使用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は21:30まで) 職員配置：常勤3人、非常勤6人(上期) 常勤3人、非常勤7人(下期) 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者は前年度より約1,600人の増となり、指定管理者導入前を上回る水準となった。 多様な運営企画を実施し、多数の参加があった。 提案のあった企画等は概ね実施されている。	A
利用状況	【利用者数】 合計19,328人(前年度17,652人) 個人利用 18,711人(前年度17,362人) 団体利用 151人(前年度 82人) 館外行事 466人(前年度 208人)	A		
運営企画	子どもの日企画、子ども実行委員会によるお化けやしき・ハロウィンパーティ・児童館祭り、クリスマスパーティ、西砂学習館祭りとの連携、松明祭り・自治会夏祭りとの連携	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：54,897,660円(指定管理料) 支出：55,004,843円 事業収支：▲107,183円 人件費比率：79.8% 空調工事の追加により収支がマイナスとなっている。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、非常通報装置保守、樹木せん定、空調機保守、建築設備定期検査	A		
新たな取り組みの状況	中高生に対する取り組み(音楽室設置等)、子育てサポーター養成講座、近隣小・中学校の生徒対象アンケート、子育て広場に不用品交換コーナー設置	A		
提案の実施状況	食育事業、小中学生の学習支援、専門家による教室、保護者向け学習会、子育て講座、妊産婦講座・座談会、父親育児講座、多世代交流、復興支援・被災地遠足、動物の飼育	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。 利用者アンケートを実施し、年度中に結果を公表した。 独自ホームページの立ち上げについては、早期の進展が望まれる。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加している。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	通年意見箱の設置により実施し、結果を館内に掲示した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内を作成し、常時設置している。 また、市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページ立ち上げに向けた準備を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	倉庫の雨漏り・床修理、遊戯室の天井修理、工作室ガラス交換、集会室壁紙貼り替え、コンセント修理	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 事業所内でのプロジェクト会議、研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	5件の事故・苦情があったが適切に対応されている。 ・子ども同士の喧嘩によるけが ・児童が職員に対し、突き飛ばすなど手を出す(2件) ・ドッジボール中の児童と職員の接触 ・児童が投げたボールが職員の顔に当たる	A	事故・苦情等に対しては適切に対応している。 未然防止のため、一層の対策を検討されたい。	A
事故の予兆に対する対応	バスケットゴールの鉄柱へのスポンジ巻き付け、遊戯室では裸足で遊ぶよう声かけなどを行った。 児童による暴力行為が見られたため、保護者・家庭支援センター・学校・警察等の関係機関と連携し対応した。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・児童が職員のかばんの中身を取り出すところを発見する。 ・外で遊んでいた児童が暑さで体調を崩す。 ・職員の注意に対し、高校生が暴言を浴びせる。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや事業所内プロジェクト会議等を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 また、学童・児童館合同や単独での避難訓練を実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の実施、西砂学習館運営協議会への参加、西砂青少健、西砂子連との連携などにより、情報共有している。 社協や子ども家庭支援センターとの連携に努めている。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	1,625,681円の削減。(平成23年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>地域団体の会議に積極的に参加し、ふれあい松明まつりや西砂子どもまつり等地域行事にも参加、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。</p> <p>保護者向け学習会としてシングルマザーカフェや子育てサポーター養成講座を行い、子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>多世代交流として、老人会ボランティアによる将棋教室など多世代交流に取り組んでいる。</p> <p>以上のような事業を実施し、安定的な運営が行われている。</p>		A	<p>指定管理者導入2年目。初年度であった前年は、導入前よりも利用者数減となったが、さまざまな取り組みにより地域での認知が広がり、2年目は導入前を上回る利用者数となった。</p> <p>トラブル防止には課題もあるが、仕様等の水準には達していると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市松中学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	松中学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月学童団会議、随時児童館・学童保育所の合同団会議において、設置目的や運営事項を確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職、異動に際し、引き継ぎの期間を設け、業務が正常に継続されるよう配慮している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤2名、非常勤3名(上期) 常勤3名、非常勤3名(下期) 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 提案内容については、概ね実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】 定員数 68人 延べ利用人数 9,953人(前年度10,777人)	A		
運営企画	工作週間、誕生会、夕涼み会、スポーツ大会、子ども喫茶、ハロウィンパーティー、クリスマス会、伝承遊び	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(西砂児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(西砂児童館にて評価)	—		
新たな取り組みの状況	保護者交流会(保護者会でのスライド上映、保護者の学童工作体験)	A		
提案の実施状況	食育事業、児童館行事への参加、地域懇談会への参加、乳幼児事業への参加、児童館との連携行事、地域ボランティア活動への参加、小学校との連携(クラス担任との懇談会)	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	内部・外部の研修、会議などへ積極的に参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内を設置。 市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	年間事業計画を利用者に配布。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	西砂児童館にて一括して実施。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部が巡回して確認	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修、各現場の事例検討研修を実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	6件の事故があったが適切に対応された。 ・遊び中のけが(3件) ・ビービー弾を自分で耳に入れる。 ・おやつにアレルギー成分の含まれる食品を出す。 ・事務室に入ってきた児童がネットランチャーを発射。	A	事故、苦情に対しては適切に対応されている。 けがの未然防止には、一層努められたい。	A
事故の予兆に対する対応	遊びの中で、他の児童を蹴るなどする事案が見られたが、保護者との面談や話し合いにより、改善している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	学校プールと流しそうめんに出席した児童が、学校の先生の勘違いにより、1時間教室に待たされる。その間、学童に戻っていないことに気が付かなかった。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや事業所内プロジェクト会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 学童・児童館合同や単独の避難訓練を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の実施、西砂学習館運営協議会への参加、西砂青少健、西砂子連との連携などにより、情報共有している。 社協や子ども家庭支援センターとの連携に努めている。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	西砂児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
<p>月毎に誕生日会、スポーツ大会、工作教室、季節行事としてハロウィンパーティー、伝承遊びとして正月遊び、父母会共催行事として夕涼み会、クリスマス会などの行事を実施した。</p> <p>また、西砂子どもまつりなど児童館行事や子育てひろばへの参加や、合同避難訓練などが連携して行われた。地域との連携については、児童館地域懇談会での学童保育所の活動報告や意見交換が行われた。</p> <p>土曜日の延長保育も実施され、安定した運営に取り組んでいる。</p>		A	児童館との併設のメリットを生かしながら、運営されており、仕様書の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成26年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
羽衣児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	羽衣児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	羽衣学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成26年度から、児童館と併設学童保育所を一体として指定管理者制度を導入した。

羽衣児童館は日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、羽衣学童保育所も土曜日の延長保育を実施した。

児童館で児童のけがへの対処で、学童保育所で児童指導で一部不手際があったが、ともに安定した運営に取り組んでいる。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
1	羽衣児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ガイドラインやマニュアル、事業計画に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合いや利用案内の配布、使用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤3人、非常勤6人 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 前年度は改修工事による閉館があったことを差し引いても、利用者は指定管理者導入前よりも、大幅増となった。 導入初年度であるため、維持管理経費の見込みと実績に差が生じ、収支はプラスとなった。 多様な運営企画を実施し、多数の参加があった。 提案のあった企画等は概ね実施されている。	A
利用状況	【利用者数】 合計27,829人(前年度10,691人) 個人利用 26,968人(前年度 9,147人) 団体利用 673人(前年度 1,262人) 館外行事 188人(前年度 282人) ※前年度は10月以降改修工事のため閉館し、一時移転先の小学校にて出張児童館を実施。 参考 4～9月利用者数14,641人(前年度8,798人)	A		
運営企画	子どもの日企画、うちわ作り、児童館に泊まろう、学童父母会共催夏まつり、はごろもっ子スポーツ、館対抗ドッジボール大会、地域連携子どもまつり、ジュニアリーダー協力のゲーム大会	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：54,798,480円(指定管理料) 支出：50,303,976円 事業収支：4,494,504円 人件費比率：76.48%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	床・窓ガラス・エアコンフィルター清掃、害虫駆除、非常通報装置保守、カーテンクリーニング	A		
新たな取り組みの状況	乳幼児親子に対する取り組み(子育て講座等) 小学生に対する取り組み(子ども会議等) 利用者アンケート・地域懇談会、館対抗ドッジボール大会、子どもの学習支援事業	A		
提案の実施状況	宿泊行事、食育事業、工作行事、一日保育士体験、スポーツ行事、伝統文化・芸術行事、子どもスタッフによる企画運営行事、6館合同行事、中高生の子ども会議への参加、乳幼児親子向け行事	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。 利用者アンケートを実施し、年度中に結果を公表した。 独自ホームページの立ち上げについては、早期の進展が望まれる。	A
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加している。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内を作成し、常時設置している。 市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページ立ち上げに向けた準備を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕		—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	取扱者を限定し、使用時には複数で確認している。 鍵書庫での管理を徹底している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 事業所内でのプロジェクト会議、研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	5件の事故・苦情があったが、一部病院への処置の遅れが見られた。 ・遊び中のけが(4件) ・母親がおむつの状態を確認しようとしたところ、嫌がり転倒し、後頭部を床に強打する。	A	事故防止への取り組みは行われている。児童のけがの際には、速やかな対応を心掛けられたい。	A
事故の予兆に対する対応	ドアや蝶番設置個所への指はさみガードの取り付け。柱や棚などの角へのクッション材の取り付け。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	児童の衣服の装飾に消火器のピンが引っ掛かり、誤発射された。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや事業所内プロジェクト会議等を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、学期ごとの訓練や錦児童館との合同訓練を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域定例会議へ参加、文化部・体育会等への協力依頼、ジュニアリーダーの活動支援、町内ゴミ拾い活動などにより、地域や関係機関との連携を進めている。	A	地域や関係機関との連携構築に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
錦児童館との連携	錦児童館共催行事「炭焼き体験」の引継・継続ポーリング講習会への参加と協力	A	さまざまな取り組みにより、地域のボランティア、団体等と幅広い連携を進めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	3,433,824円の削減。(平成24年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>子どもの居場所づくりと学習支援として、子どもの未来を考える会、立川市社会福祉協議会との共催で、子どもの学習支援事業(かっぱの寺子屋)の実施、小学生に対する取り組みとして子ども会議の実施、第六小学校への出張児童館を行った。</p> <p>地域団体の会議に積極的に参加し、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。</p> <p>乳幼児親子の事業にも力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>以上のように、新たな事業を実施し、利用者も増加し、安定的な運営が行われている。</p>		A	<p>指定管理者導入初年度。利用者数は導入前よりも大幅に増加しており、さまざまな取り組みの成果が表れている。</p> <p>引き続き良好な運営に努め、さらなるサービス向上に期待する。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	羽衣学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	マニュアル、事業計画に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	入所説明会、保護者会での説明により、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤3名、非常勤3名 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 提案内容については、概ね実施または実施に向けた準備が進んでいる。	A
利用状況	【学童保育所利用者】 定員数 60人 延べ利用人数 10,495人(前年度11,050人)	A		
運営企画	新入生歓迎会、誕生会、スポーツ大会、工作週間、学童父母会共催夏まつり、ハロウィンパーティ	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(羽衣児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(羽衣児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	在籍児童による子ども喫茶の実施 子ども未来センターへの遠足	A		
提案の実施状況	館内職員同士の連携、児童館行事への参加・合同行事の実施、児童館地域懇談会への参加、地域ボランティアへの参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	全職員が丁寧な対応を意識して行っている。	A	利用者に対しては、丁寧な対応を心掛けている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加している。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に及び随時連絡が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	入所案内を常時設置している。市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	年間事業計画を利用者に配布。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	トイレ個室パーホルダーの破損修繕。	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	取扱者を限定し、使用時には複数で確認している。鍵書庫での管理を徹底している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。各現場の事例検討研修実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	指導の中で、職員が児童の頬を打つ事案があった。	C	子どもへの接し方については、職員への指導を徹底するよう求める。	B
事故の予兆に対する対応	ドアや蝶番設置個所への指はさみガードの取り付け。 柱や棚などの角へのクッション材の取り付け。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・2階階段手すりに児童がよじ登る。 ・児童がトイレ窓から外を覗こうと、ペーパーホルダーに乗ったところ、ホルダーが破損し落下する。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや事業所内プロジェクト会議等を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 また、学期ごとの訓練や錦児童館との合同訓練を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携に努めている。	A	地域や関係機関との連携構築に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	羽衣児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>月毎に誕生日会、スポーツ大会、工作教室、季節行事としてハロウィンパーティー、父母会共催行事として、はごろも夏まつり等の行事を実施した。 また、避難訓練、大掃除、豆まきなど児童館行事や合同行事に参加した。 地域との連携については、児童館地域交流会に参加し、学童の普段の様子を地域の方々へ伝えた。 一部、児童に対する不適切な対応があったが、その後の対処は十分行われており、安定した運営に取り組んでいる。</p>		A	<p>指定管理者導入初年度。今後は一層、職員の業務に対する意識の向上に努め、管理運営を行われたい。 児童館との併設のメリットを生かしながら、運営されており、仕様の水準に達している。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成26年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
富士見児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	富士見児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	南富士見学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成26年度から、児童館と併設学童保育所を一体として指定管理者制度を導入した。

富士見児童館は日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、南富士見学童保育所も土曜日の延長保育を実施するなど、ともに安定した運営に取り組んでいる。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市富士見児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
1	富士見児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ガイドラインやマニュアル、事業計画に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合いや利用案内の配布、使用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤3人、非常勤7人 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。 平成25年度は10月以降改修工事のため閉館したことを差し引いても、利用者は指定管理者導入前よりも、大幅増となった。 多様な運営企画を実施し、多数の参加があった。 提案のあった企画等は概ね実施されている。	A
利用状況	【利用者数】 合計16,385人(前年度9,145人) 個人利用 15,674人(前年度 8,366人) 団体利用 113人(前年度 479人) 館外行事 598人(前年度 300人) ※前年度は10月以降改修工事のため閉館し、一時移転先の小学校にて出張児童館を実施。 参考 4～9月利用者数7,080人(前年度8,742人)	A		
運営企画	子どもの日企画、宿泊行事、季節行事(ハロウィンパーティ・クリスマスパーティ・伝承遊び大会)、学童父母会共催児童館まつり、他館との合同行事(アイススケートに行こう)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:51,586,634円(指定管理料) 支出:51,586,575円 事業収支:59円 人件費比率:78.3%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	館内・窓ガラス清掃、害虫駆除、樹木せん定、非常通報装置保守、カーテン清掃	A		
新たな取り組みの状況	小学生に対する取り組み(子ども会議) 地域との連携(地域交流会) 他館との連携(6館合同ドッジボール)	A		
提案の実施状況	畑作り、ランチタイム、食育事業、各種子育て講座、工作行事、子ども会・青少健・学校等との連携、6館合同ドッジボール大会	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。 利用者アンケートを実施し、年度中に結果を公表した。 独自ホームページの立ち上げについては、早期の進展が望まれる。	A
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加している。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内を作成し、常時設置している。 市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページ立ち上げに向けた準備を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	一輪車修理、トイレ扉ガラスの修繕	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報に関わるものは鍵付金庫に保管し、データはパスワードで保護している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 事業所内でのプロジェクト会議、研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の事故があったが、一部病院への処置の遅れが見られた。 ・遊び中のけが ・退館時にドアの取っ手に額をぶつける	A	事故防止への取り組みは行われている。児童のけがの際には、速やかな対応を心掛けられたい。	A
事故の予兆に対する対応	体を動かして遊ぶ中で、子どもが感情的になるケースもあり、職員同士で連携して対応するようにした。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	玄関前にライターが落ちていたのを学童児が見つかる。職員が2階の鍵を返し忘れ、帰宅してしまう。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや事業所内プロジェクト会議等を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。避難訓練を2回実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域懇談会の開催、富士見青少健、富士子連との連携、たまがわ未来パークまつりへの出店などにより、地域との連携を進めている。	A	地域や関係機関との連携構築に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
乳幼児事業の拡充 地域団体との連携	親子サークル、子育てひろば、ランチタイム事業等。新生まつり、四小まつり等への参加。自治会祭りの準備手伝い。児童館まつりへの地域住民のボランティア参加。	A	さまざまな取り組みにより、地域のボランティア、団体等と幅広い連携を進めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	2,915,802円の削減。(平成24年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>自然に触れる機会として、畑づくりを行い子どもたちと土を耕すところから一緒に行った。また昼食場所の提供として「ランチタイム」を行い、小学生に加え中高生や乳幼児親子の利用により、異年齢同士の交流ができた。</p> <p>地域団体の会議に積極的に参加し、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。</p> <p>乳幼児親子の事業にも力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>以上のように、新たな事業を実施し、利用者も増加し、安定的な運営が行われている。</p>		A	<p>指定管理者導入初年度。利用者数は導入前よりも大幅に増加しており、さまざまな取り組みの成果が表れている。</p> <p>引き続き良好な運営に努め、さらなるサービス向上に期待する。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市南富士見学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	南富士見学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	マニュアル、事業計画に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	説明や話し合い、利用案内の配布などにより、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤2名、非常勤4名 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 提案内容については、概ね実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】 定員数 46人 延べ利用人数 9,139人(前年度8,695人)	A		
運営企画	入所歓迎会、誕生会、スポーツレク、工作週間、季節行事(ハロウィンパーティ・クリスマス会)、子ども喫茶	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(富士見児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(富士見児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況		—		
提案の実施状況	館内職員同士の連携、児童館行事への参加、合同行事の実施、児童館の地域交流への参加、近隣保育園への訪問	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	全職員が丁寧な対応を意識して行っている。	A	利用者に対しては、丁寧な対応を心掛けている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加している。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に及び随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	入所案内を常時設置している。 市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	館内に常設している。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	育成室扉の補強	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報に関わるものは鍵付金庫に保管し、データはパスワードを付けて保護している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修、事業所内でのプロジェクト会議、研修を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の事故・苦情があったが、適切に対応された。 ・児童が階段を踏み外し転倒。頭や体を打つ。 ・車でお迎えに来た保護者がエンジンを切らずに駐車したことに対する近隣からの苦情。	A	事故・苦情等に対しては、適切に対応された。	A
事故の予兆に対する対応	ドアや蝶番設置個所への指はさみガードの取り付け。 柱や柵などの角へのクッション材の取り付け。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・滑り台を滑っている際、足が引っ掛かり前のめりに転倒しそうになったところを指導員に支えられた。 ・児童が階段で転倒しそうになり、職員が後ろで体を支えた。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや事業所内プロジェクト会議等を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 避難訓練を2回実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携に努めている。	A	地域や関係機関との連携構築に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	富士見児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>月毎に誕生日会、スポーツ大会、工作教室、季節行事としてハロウィンパーティーやクリスマス会等の行事を実施した。</p> <p>また、手芸の日、おりがみの日など児童館の行事に合同行事として参加した。地域との連携については、児童館地域交流会に参加し、学童の普段の様子を地域の方々へ伝えた。</p> <p>学童の運営については特に問題なく実施された。</p>		A	指定管理者導入初年度。児童館との併設のメリットを生かしながら、運営されており、仕様の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市斎場	非公募・特命	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
公益社団法人 立川市シルバー人材センター	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	斎場使用や料金など斎場設置条例や規則に基づき、適正に管理した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	葬祭事業所長と本部事務局事業係担当者との定期的なミーティングを通じ、理解の浸透に取り組んだ。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	式場及び葬儀日程の予約はすべて先着順とし、公正・公平を期すよう努めた。	A		
事業の継続性の担保	新規会員の補充には十分な引継期間を設けるとともに、その後もサポートの取れる体制を確保した。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開業日数:365日 開業時間:8:30～20:00 職員配置状況:葬祭事業所長1名、施設管理・市営葬儀受付・従事就業会員17名 賃金単価:嘱託 月額200,000円 会員 時給894円～1,234円	A	適切に人員を配置している。女性会員の活用をさらに進めている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 収支については、家族葬の増加(葬儀の小規模化)による使用料減があるものの、葬祭関連用品の納入事業者からの販売手数料見直しにより、約1,100万円の収入増となった。一方、施設老朽化による保守管理費の増加などにより、支出面でも約660万円の増となっている。 提案の実施状況については、前年度課題となっていたホームページの更新状況が引き続き不十分となっており、対応が望まれる。	A
利用状況	斎場利用件数:311件(前年度317件) 市営葬儀利用件数:235件(前年度236件) 1階式場:貸出数283回(前年度289回) 2階和室:貸出数194回(前年度196回) 霊安室:貸出数775回(前年度893回)	A		
運営企画	市民マップへの紹介記事を記載(3万枚) 市営葬儀案内チラシを配布(市内全戸) 市営葬儀説明会の実施(月1回) 希望団体への出張市営葬儀説明会の実施(3回)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:49,772,651円、支出40,485,673円 (うち指定管理料10,300,479円) 事業収支:9,286,978円 人件費比率:64.3% 外部委託費比率:11.2% 利用者あたり管理コスト:130,179円 利用者あたり市負担コスト:33,121円	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	シルバー人材センター総合保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、施設警備、定期清掃、自動ドア保守、冷暖房器具点検、施設検査、ごみ収集、電気設備保守、安全運転講習、漏水調査	A		
新たな取り組みの状況	地域学習館での市営葬儀説明会、パンフレットの全戸配布、料理メニューの充実	A		
提案の実施状況	葬儀方法の知識習得、葬儀に関する相談窓口設置 B評価…ホームページについて、費用試算が未掲載。説明会の案内が未更新。	A×2 B×1		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に対応している。アンケート結果でも良好な結果となっている。	A	遺族の立場に立って接客を行っており、アンケート結果も良好である。職員の対応は適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。 利用は申し込みの先着順としており、公平・公正になされている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアル「立川市の葬儀」を整備し、これに基づき、適切に対応している。	A		
研修・教育の実施状況	会議やミーティングを通じ、啓発と指導を行っている。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは業務連絡会議等により随時、連絡・調整を行っている。 本部事務局担当職員への連絡は、常時可能。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、市に報告している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを発行するとともに、チラシの全戸配布、センターホームページ等で周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	シルバー人材センター全体の事業計画・報告書を事務所に備えている。	A		
公平・公正利用の確保	式場予約等、全て先着順としている。	A		
業務の点検	会員との会議や面談にて実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき適切に実施しており、常に衛生的な状態となっている。	A	マニュアル等も整備されており、事業計画書・協定書に基づき、清掃や施設、設備の保守点検が適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。簡易な修繕は、随時対応している。	A
施設及び設備の保守・点検	マニュアル等の整備をし、事業計画書・協定書に基づき適切に実施している。	A		
保安・警備	適切に管理・運営されている。	A		
小規模修繕	空調機修繕、給湯器修理、漏電修理、自動ドア修理、事務所ドア修理	A		
備品管理	備品台帳を作成し、常時点検を行っている。 斎場に設置している祭壇の日焼けシミ等の汚れが目立ってきている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	葬祭事業所長の指導の下、適切に実施している。	A	個人情報保護要綱を制定し、要綱に沿って適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	法人として、個人情報保護要綱を制定し、業務執行している。	A		
適正な管理	一定期間を経過した書類は、本部事務局事業係において管理している。	A		
再委託の禁止	市の承諾のない再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	会議やミーティングを通じ、啓発を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護要綱を制定している	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	駐車時にバンパーと車止めが接触する事故があったが、適切に対応された。	A	施設や備品の老朽化による事故の予兆、ヒヤリハットの状況はあったが、適切に対応された。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	式場椅子の老朽化によるぐらつき。(溶接補修にて対応) 強風時にロータリーに枯枝が落下。(剪定にて対応) 霊柩車使用時にエンジンがかからない。(整備済み)			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを整備し、会議・ミーティング・講習会への参加を通じて対応策を指導するとともに、葬祭事業所長を中心にした対応体制を確立している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	施設の性格上、地域に開かれた運営は難しい。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	13,307,335円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	年々、指定管理料削減に努めている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>利用者数は、平成25年度に引き続き26年度も年間300件以上と安定的に推移しており、市民への斎場の周知が行き届いていることが伺える。</p> <p>施設・設備については、老朽化が進んでおり、定期的に点検・修繕を行いながら使用している状況である。</p> <p>市営葬儀利用者アンケートでは、葬儀の事前打合せに関しては、「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」と回答した方の割合は90%以上と高い支持を得ている。一方、葬儀のお手伝いや司会進行については「やや不満」「全く不満」と回答している人の割合も9%いる等、改善の余地も残されている。</p> <p>26年度からの新たな試みとして、チラシの全戸配布や各地の学習館等での「市営葬儀説明会」の開催等、市営葬儀のメリットを積極的にPRしている。</p> <p>前年度に引き続き「家族葬」増加の傾向が強く、今後も続く予想される。そのため葬儀規模の縮小傾向により葬祭関連商品取扱手数料収入の減少が予想されるが、引き続き市民への周知に取り組むとともに、指定管理費及び使用料収入の効率的な使用を目指し、諸経費の節減等に取り組んでいただきたい。</p>		A	<p>毎月の市営葬儀説明会や出張説明会の実施により利用者拡大に向けた努力がなされている。</p> <p>施設老朽化などの課題に対応しながら、利用者に寄り添った丁寧な運営がなされており、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市総合福祉センター	非公募・特命	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
立川市社会福祉協議会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	計画や設置目的に沿って、適切に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理部門係内での定期的な会議等で、基本的な事項の理解を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	館の利用目的に合わせて公平・公正に利用できるよう、申込み開始時期を設定した。	A		
事業の継続性の担保	専任職員以外にも、兼任の職員を置き、業務の共有を行い、事業の継続性を担保した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況				
基本的事項	<p>【センター管理業務】 開所日数:298日 開所時間:8:30~19:00 専任職員1名、臨時職員 時給900円 B評価・・・職員の雇用形態が囑託で計画していたところ臨時職員で対応</p> <p>【身体・知的障害者デイサービス事業】 開所日数:244日 開所時間:9:00~15:30 正規3名、囑託10名 非常勤17名:時給985円</p> <p>【高齢者デイサービス事業】 開所日数:244日 開所時間:9:15~16:30 正規1名、囑託3名 非常勤20名:時給985円</p>	A×14 B×1		
利用状況	<p>【センター管理業務】 延べ利用者数30,370名(前年度:25,849名)</p> <p>【知的障害者デイルーム】 延べ利用者数:4,993名(前年度5,196名)</p> <p>【身体障害者デイルーム】 延べ利用者数:5,073名(前年度4,752名)</p> <p>【高齢者デイサービス】 延べ利用者数:6,496名(前年度6,332名)</p>	A	<p>基本的事項については、計画通り実施されている。 基準を超えて、職員を配置している。</p> <p>賃金単価については、法令等遵守されている。</p> <p>運営企画は、利用者や家族のニーズに応え、様々なものを実施した。</p> <p>地域の福祉にかかわる人材の育成に貢献している。</p>	A
運営企画	<p>【知的障害者デイルーム】 理学療法、作業療法、言語訓練、音楽療法、調理・お菓子作り、臨床美術、1日外出、健康相談、健康診断、避難訓練、家族懇談会</p> <p>【身体障害者デイルーム】 理学療法、作業療法、プール活動、調理活動・お菓子作り、足浴、一日外出、音楽活動、避難訓練、レクリエーション、臨床美術、季節行事、健康相談、健康診断、家族懇談会</p> <p>【高齢者デイサービス】 体操、書道、音楽、作品展、花見・紅葉狩り・新年お参り、敬老会</p>	A		
事業収支 経営状況分析指標	<p>【センター管理業務】 収入:67,983,997円(指定管理料67,981,000円) 支出:67,853,342円 事業収支:130,655円</p> <p>【身体・知的障害者デイサービス事業】 収入:164,382,991円、支出:166,851,079円 事業収支:▲2,468,088円</p> <p>【高齢者デイサービス事業】 収入:67,819,502円、支出:69,116,670円 事業収支:▲1,297,168円</p>	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	<p>介護保険・社会福祉事業者総合保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。</p>	A		
第三者への委託状況	<p>警備業務、自家用電気工作物保安管理、消防用設備保守、発電設備保守、エレベーター保守、空調設備保守、自動ドア保守、日常清掃、定期清掃、送水管防食装置定期保守、中央監視盤保守、給排水設備清掃、衛生設備保守及び給湯ボイラー設備保守 運転、プール運営、プール可動式床システム保守、建築設備定期検査、運営一般管理、送迎運行、介護請求システム</p>	A		
新たな取り組みの状況	<p>災害対策として全館避難訓練を年1回実施したほか、BCPを作成し、図上訓練を行った。</p>	A		
提案の実施状況	<p>小学校の総合学習の時間を利用した、総合福祉センター見学による福祉学習の推進</p>	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇マニュアルに基づき、適切に対応している。	A	接遇に関しては、良好に行われている。 各種法令を遵守するとともに、関係組織に加盟し研修等に参加している。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を公表している。 施設利用についての広報・情報提供に関しては、さらなる取り組みを行われたい。	A
マニュアルの整備	接遇マニュアル、電話受付マニュアル、出退勤時館内点検・手順マニュアルを整備し、適切に対応している。	A		
研修・教育の実施状況	年に3回研修を行っている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的な報告のほか連絡・調整を月に数回行っている。また、非常時等は、ただちに市へ連絡する体制が取られている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回実施し、公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを発行している。B評価・・・ホームページへの施設利用案内掲載は行っていない。	A×2 B×1		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を公表している。	A		
公平・公正利用の確保	利用申し込み日を定めることで、公平・公正に利用できるようにしている。	A		
業務の点検	常に点検している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A	施設が老朽化しているものの、清掃や施設・設備の保守点検は、事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕についても、迅速な対応に努めている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	自動制御機器の予防保全・交換、煙感知器の交換、エアコン基盤部品交換、スプリンクラー圧カスイッチ交換、蛍光灯交換、便器交換、相談室の増設、スプリンクラー増設、雨漏り箇所・自動ドア駆動装置・自動火災報知設備・駐車場排風機・輻射式ヒーター・プールグレーティング・送風機ファンの修繕	A		
備品管理	一部に廃棄手続や備品シールの不備が見られた。	B		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A	立川市社会福祉協議会個人情報保護規程を制定し適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
適正な管理	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
再委託の禁止	個人情報に関する再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	職員会議等の場において、個人情報保護規程を周知している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由・状況等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	職員若しくは他の利用者への噛みつきや、送迎車両の軽微な自損事故が複数回発生した。事情に応じて、適切に処理した。	A	ヒヤリ・ハット事例は職員間で共有し、事故防止に努めている。 災害発生時や事故発生時に備え、避難訓練を定期的に実施し、体制を構築している。	A
事故の予兆に対する対応	「ヒヤリ・ハット報告書」の会議での読み上げや閲覧等により、職員間で共有している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	転倒や誤薬・誤食、離脱など、9件の事例があった。職員間で共有化し、事故の未然防止に生かしている。			
事故防止対策の取り組み状況	立川市社会福祉協議会職員参集マニュアル及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを定めている。 避難訓練については、全館で年1回実施。生活介護支援事業所にて月1回実施、高齢者デイサービスでは年数回実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	立川市社会福祉協議会として、地域での懇談会などを実施し、地域課題を把握し運営に生かしている。S評価・・・関係機関との連携を強化し、地域福祉の推進拠点として、施設を有効に活用している。	S×1 A×4	積極的に地域や関係機関との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし	特になし。			—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	【施設管理経費】 6,723,486円の削減。(平成23年度決算との比較)		導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由・状況等	
◆ 総合評価				
法令等を遵守し、実施計画に基づき管理・運営が行われている。計画のとおり事業を実施できている。 職員の接客・電話対応等の接客は良い。 屋内外の様々なイベントや健康相談・診断等の企画運営のメニューが豊富である。 利用者からのアンケート調査やセルフモニタリングなど事業の点検を実施している。 各種マニュアル等が整備されていて、それに基づき事業を実施している。 地域への参加やボランティアの受け入れなどにより、地域や関係機関との連携を図っている。 利用者の安全性確保や安心利用を含め、効率的、効果的な管理運営がなされている。		A	利用者ニーズ等に応え、多くの運営企画が実施されている。 積極的に福祉体験やボランティアの受け入れなどに取り組み、地域の福祉向上に貢献している。 施設利用についての広報・周知に改善の余地はあるものの、管理運営は適切になされたと判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柏地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 至誠学舎立川	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	立川市との基本協定に基づき設置目的に沿った通所介護事業の管理運営のために、年度事業計画を作成し、実施している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	指定管理者としての業務内容を年度事業計画に明記した上で、日々の業務連絡会や朝礼等において職員に対し説明を実施している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法・関連法令を遵守した人員・運営基準に則り運営している。具体的なサービス提供に当っては介護支援専門員の作成する「居宅サービス計画」に基づき「通所介護計画」を作成し、利用者の同意の上でサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	全職員対象の勉強会や新任研修の実施、業務チェックシートの活用などにより、事業の継続性を確保した。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般 295日 認知症対応型 309日 営業時間：8:30～17:30 職員配置：26人(正規4人、臨時22人) 時給：介護 890～1,020円 看護 1,370～1,670円 療法士 2,020円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、前年度とほぼ同水準となっている。 多くの企画を行い参加も多く、利用者から好評を得ている。	A
利用状況	一般型通所介護：6,997人(前年度6,415人) 認知症通所介護：2,501人(前年度2,813人)	A		
運営企画	お花見ドライブ、初夏のお出かけ、夏祭り、長寿お祝い会、初詣、豆まき交流会、作品展示会	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：99,683,563円、支出：99,430,356円 事業収支：253,207円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率：61.0%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額：1.5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安管理業務、空調設備及び給湯設備保守点検、消防設備保守点検、床・窓ガラス清掃、機械警備、自動ドア保守点検、入浴用リフト保守点検	A		
新たな取り組みの状況	特になし	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	「ホームの手引き」に基づき適切に対応している。アンケートでは、約7割の利用者がセンターの「良い点・満足できる点」として職員の対応を選択。	A	業務マニュアルを設置して適切に実施されている。 毎日業務終了後、自己点検票にて業務点検を行っている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を利用者・家族へ発行している「柏だより」にて公表している。	A
マニュアルの整備	ルーチン業務マニュアル、相談員業務マニュアル、配膳マニュアル、服薬手順マニュアル、連絡係業務マニュアル、感染予防対策マニュアル、送迎マニュアルなどを整備。	A		
研修・教育の実施状況	事業所・至誠ホームの年度研修計画に則り実施	A		
所管部署との連携・連絡	月次報告や随時の報告を行っている。非常時・事故等の連絡体制は、取り扱い要綱に基づき実施している。	A		
利用者アンケート等の実施	アンケートを実施し、結果を利用者・家族へ発行している「柏だより」にて報告している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用者用・ケアマネジャー用のパンフレットを作成し、見学時等に渡している。HPでも公表。	A		
事業計画・報告書の公表	閲覧用として施設内に設置している。	A		
公平・公正利用の確保	介護保険法を遵守し、公平・公正にサービスを提供している。	A		
業務の点検	毎日業務終了後、自己点検票にて行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒を行っている。環境美化担当職員を定めている。	A	感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒を行っている。 小規模修繕について、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	年度計画やマニュアルに基づき、業務を行っている。	A		
保安・警備	保管箱を設置し、鍵を管理している。夜間は委託により機械警備を行っている。	A		
小規模修繕	正面玄関備品交換、非常用照明設置、電球交換、給湯器交換、暖房温水配管修繕、給湯ポンプ修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成・管理し、年1回確認作業を実施。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	法人「個人情報に関する基本規程」に則り、管理人の監督をしている。	A	年1回の研修会を実施している。 個人情報に関する取り扱いについては、法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応している。	A
個人情報等秘密の保持	市個人情報保護条例を遵守し、日々の業務を遂行している。	A		
適正な管理	法人「個人情報に関する基本規程」「個人情報に関する文書等管理規程」に基づき適正に管理している。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	年1回研修会を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	転倒が疑われる事案が1件あった。 ・職員が目を離した間に椅子から離れ、膝立ちの状態で見送られた。	A	大きな事故・苦情は特になかった。 手引きやマニュアルにて責任者の明確化、連絡・対応体制や取り組みを定めて実施している。	A
事故の予兆に対する対応	ヒヤリ・ハット報告書を作成の上、連絡会で報告し、要因分析と防止策を検討し実施している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	2件のヒヤリ・ハットがあった。 ・利用者の迎車忘れ。 ・自力で歩いて帰宅してしまった。			
事故防止対策の取り組み状況	「ホームのてびき」「柏センターセクションマニュアル」に基づき、事故防止に取り組んでいる。 年3回の防災訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	シルバーピアとの情報交換や、地域の小学校との交流会を行っている。また自治会の納涼祭り等に参加するとともに、福祉用具の貸し出しを行っている。	A	地域の自治会・小学校、シルバーピア等との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前決算額との比較	5,107,756円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>利用者アンケートの結果では、サービスに満足・まずまず満足と回答している方が95%を超え、サービス内容では職員の勤務態度・ケア姿勢、活動やレクリエーションで約7割以上の利用者、家族から評価を得ており、サービスの質の高さが評価されている。</p> <p>また、利用者から要望に応え行事を充実するなど、ニーズへの対応も適切と評価できる。</p> <p>小規模修繕を計画的に行い、施設・設備の維持管理及び利用者の安全に努めている。</p> <p>事故等の発生時の対応は迅速で、その後、業務連絡会、送迎連絡会等において職員間で共有を図り事故防止に努めている。</p> <p>以上から、仕様書等で定められた水準に達していると判断し、A評価とする。</p>		A	施設の老朽化に適切に対応し、運営されている。 丁寧な対応を心掛け、アンケートでも良好な結果となっている。 仕様書等の水準に達していると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 恵比寿会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	運営方針・規定に基づき、人員配置や施設管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入社時に施設の説明や地域特性を説明している。内部監査を実施し目的に沿った取り組みが行われているか調査し改善につなげている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市内の利用希望者に適切に対応できるよう、居宅事務所との連携を緊密に図っている。	A		
事業の継続性の担保	ベテラン職員を法人内異動により配置し、業務を安定的に実施できるよう努めている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般・予防通所介護 257日 認知症通所介護 309日 営業時間：8:30～18:00 (サービス提供時間 9:00～17:00) 職員配置：23名(正規：5名 臨時：18名) 時給：介護職 900～1,000円 介護福祉士 950～1,060円 看護師・准看護師 1,650～1,800円 その他職員 950～1,000円 障害者雇用での自立訓練対象者 890円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実行されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、前年度とほぼ同水準となっている。 多くの企画を行い参加も多く、利用者から好評を得ている。	A
利用状況	一般・予防通所介護：7,718人(前年度7,597人) 認知症通所介護：2,045人(前年度2,280人)	A		
運営企画	お花見、体力測定会、夏祭り、敬老会、作品展示会、初詣、節分、雛祭り	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：103,655,687円、支出：100,221,254円 事業収支：3,434,433円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率：57.4%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額：5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	電気設備保守、警備設備保守、清掃業務、消防設備点検、貯水溜点検、自動ドア保守、リハビリ機器点検、植栽せん定・除草	A		
新たな取り組みの状況	尺八ボランティア、配膳ボランティアの導入	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者、来所者への挨拶を徹底している。 相手の気持ちを考えての言葉使い、マナー全般においては、概ね好評である。	A	業務マニュアルを設置して適切に実施されている。 接遇等の勉強会・ミーティングを通じ、教育等を意欲的に実施している。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を施設内掲示・ホームページ掲載等により公表している。 内部監査を実施し、業務の改善に取り組んでいる。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置するとともに内部監査を実施し、適宜見直しながら業務を実施している。	A		
研修・教育の実施状況	内部監査の改善指導に基づき、部署での勉強会、ミーティング時の教育を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	緊急連絡の体制を整備し、適宜、市と連絡・調整している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果の公表をしている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報紙の発行、パンフレットやホームページによる情報提供を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設内に掲示し、公表している。	A		
公平・公正利用の確保	要介護度による区別を行わず、順次希望者を受け付けている。 通常営業に支障のない時間帯に、勉強会・会議等に無償で場所を提供している。	A		
業務の点検	内部監査を実施し、指導検査に基づき点検、改善に取り組んでいる。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	清掃年間計画に基づき実施している。	A	施設状況を把握し、対応しながら管理・運営を行っている。	A
施設及び設備の保守・点検	利用者の安全を第一に施設状況を把握し、設備維持管理計画に基づき実施している。	A		
保安・警備	定位置での鍵の保管及び鍵保持者をチェック表で管理している。 毎日チェック表で施錠等の保安点検を行っている。	A		
小規模修繕	焼き釜の部品交換、雨漏り対応(活動室の天井崩落、静養室天窗、自動ドアガラス)	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理している。備品は良好な状態を保持している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	法人の個人情報管理規程により、各部署責任者を明確化している。	A	市個人情報保護条例を準用し適正に管理するとともに、学習会等で職員への周知に取り組んでいる。	A
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報保護条例」を準用。	A		
適正な管理	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適正に管理している。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行っていない。	A		
研修・教育の実施	法人学習会を行い、再確認している。また、新人には入社時研修で認知させている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適切に運用している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	3件の事故・苦情等があったが、誠意ある対応がなされた。 ・入浴前の脱衣時に表皮剥離を発見 B評価・・・ ・機械浴利用時の足指のけが ・お迎え時の車いす忘れ	A×1 B×2	事故・苦情については、適切に対応され、解決している。 ヒヤリ・ハット事例を全職員で共有し、事故防止に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	事故発生時に報告書を法人本部へ提出。改善策を全職員で情報共有し、事故防止を図っている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	禁食(除去食)の発注ミス。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき緊急連絡体制を確立している。年2回センター全体での避難誘導訓練、毎月の消防計画に沿った訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域住民のボランティアを通じて情報を得たり、民生委員や行事を通じて地域と関わりを持っている。地域関係機関との連携に努めるとともに、小・中学校の体験学習も受け入れている。	A	積極的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
福祉教育への貢献 地域貢献 内部監査の実施	介護ボランティア、教職課程の介護体験、小学生の高齢者交流体験、介護職養成学校の実習、地元町会や幼稚園等の見学等を積極的に受け入れた。内部監査を実施し、自浄的に事業改善に努めた。	A	福祉人材の育成に貢献し、地域との連携も深めた。内部監査により業務改善に取り組んだ。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	6,032,349円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>デイサービスの利用者アンケートの実施結果では、活動、職員の勤務態度、リハビリ、食事の提供などで8割以上の利用者、家族からサービスの質の高さが評価されている。</p> <p>事故等への対応は迅速で、事故内容と対応策について全職員が情報を共有し事故防止に努めている。また、法人全体でもリスクマネジメント会議にて再発防止に向けた環境の構築に努めている。</p> <p>デイサービスの利用者数はほぼ前年度と同水準であり、全体として安定的に運営されている。</p> <p>以上のことから仕様書等で定められた水準に達していると判断し、A評価とする。</p>		A	<p>利用者アンケートの評価は高く、良好な運営がされている。</p> <p>新たな取り組みも積極的に行い、サービスの向上に努めている。</p> <p>仕様書等で定められた水準に達していると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 桜栄会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ほぼ計画通り達成できた。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	スタッフミーティングの度に基本的な事項の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法を厳守し、利用者の公平・公正利用の確保に努めている。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職後も新任職員に対しオリエンテーション・研修等を行い業務を継続して行えた。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:一般・予防・認知症通所 257日 営業時間:9:00～18:00 (通所サービス提供9:30～16:00) 職員配置:20人(正規8人、臨時12人) 時給:ケアワーカー 900円 介護福祉士 950円 看護師 1,500円 生活相談員 975円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、前年度とほぼ同水準となっている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みも行われている。	A
利用状況	一般・予防通所介護:7,671人(前年度7,494人) 認知症通所介護:948人(前年度1,072人)	A		
運営企画	盆踊り、夏祭り、敬老会、落語会、クリスマス会、オペラ、芸術祭	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:74,398,255円、支出:66,537,307円 事業収支:7,860,948円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:74.37%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:1.5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	警備、清掃、自家用電気工作物保安管理、消防用設備保守点検、空調設備保守点検、受水槽清掃、害虫駆除、植木せん定	A		
新たな取り組みの状況	健美操の導入、LED電球への交換、駐車場管理の強化(駐車場入口へのポールチェーンの設置)	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・対応等が出来ている。	A	業務マニュアルを設置し、適正に事業実施されている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を施設に設置して公表している。	A
マニュアルの整備	業務に応じた様々なマニュアルを設置し、業務を実施している。	A		
研修・教育の実施状況	適宜実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署と連絡・調整・連携がされている。 非常時・事故等の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回アンケートを実施し、結果を施設に設置して公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットや法人ホームページで情報提供している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設に設置して公表している。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムが構築されている。 設置目的以外の利用はない。	A		
業務の点検	職員会議、ミーティングで行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画に基づき実施している。	A	事業計画等に基づき、適切に実施している。	A
施設及び設備の保守・点検	適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	水漏れ水栓交換、浴室リフト油圧修繕、自動ドア部品交換、空調機部品交換	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報に適正に取り扱われるよう管理している。	A	研修・教育を実施している。個人情報に関する取り扱いマニュアルに基づき実施している。	A
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例等の規定に基づき、秘密の保持がされている。	A		
適正な管理	適正に管理している。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行っていない。	A		
研修・教育の実施	研修・教育を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報の取り扱いに関するマニュアル等が整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	5件の事故・苦情があったが、適切に対応された。 ・入浴後、新しい服に取り替えなかった。 ・与薬すべき薬の紛失。 ・送迎時間の遅延。 B評価・・・送迎中の、車両との接触事故(2件)	A×2 B×2	前年度に続き、送迎中に軽微な交通事故があった。 事故・苦情に対する対応は適切に行われた。	A
事故の予兆に対する対応	朝夕のミーティングでの伝達、注意喚起、対応の徹底を行う。原因・状況を調べ、職員ミーティングで対応策等を話し合い、事故防止に努めている。 継続的に安全運転会議を行い、事故防止に努めている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルの作成、研修の実施、立川・国立地区高齢者救急業務連絡会への参加等で、事故防止に取り組んでいる。 年2回避難訓練を実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	体操教室への場所提供、車いす等の貸出、施設周辺の清掃などにより、地域貢献に努めている。	A	地域への溶け込み、連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	4,406,429円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
利用者アンケートの実施結果では、行事等、プログラム、職員の勤務態度などでは9割以上の利用者、家族から「満足」、「やや満足」の評価を得ておりサービスの質の高さが評価されている。一方、設問によっては「無回答」の比率が高まっている状況も見られ、潜在的な不満等がある可能性があるため、サービス提供のあり方について確認願いたい。 施設の維持・管理については、小規模修繕を計画的に行い利用者の安全に努めている。また、照明をLED化することで省エネ化を進めている。 安全管理に関する事項については、送迎時に交通事故が発生しているが、毎月、安全運転会議を開催し防止に努めている。 事業収支は安定していると評価できる。 以上のことから仕様書等で定められた水準に達していると判断し、A評価とする。		A	昨年度に続き、交通事故が発生しているため、引き続き、再発防止に努められたい。 利用者数、施設維持管理等、全体を通して、安定した水準の運営が行われており、総合的には仕様書等に定められた水準に達しており、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第1ブロック)	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社	平成26年4月1日から平成31年3月31日(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例・規則や事業計画書に準じて適切に実施した。	A	施設の設置目的を理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	各種教育や研修を実施している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	24時間稼働の機械式駐輪機の導入や、一時利用満車時の場内空きスペースの有効活用により、公平・公正に利用できる環境を整備した。	A		
事業の継続性の担保	新人時のOJT研修後、常に経験者がフォローする体制で業務を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 職員数:正規2人、契約18人、パート33人 契約・パート社員 時給930円~1,050円	A		
利用状況	<p>【定期利用 平均利用台数】 ()内は前年度 自転車合計 5,566台 (5,633台) バイク合計 110台 (108台) 立川駅南口第一:自転車127台 (129台) 立川駅南口第二:自転車996台 (1,137台) 立川駅南口第三:自転車151台 (162台) 立川駅南口第四:自転車174台 (177台) 立川駅南口立体:自転車362台 (400台) 立川駅南口第一タワー:自転車139台 (147台) 立川駅南口第二タワー:自転車200台 (215台) 立川駅北口第一:自転車566台 (443台) 立川駅北口第三:自転車334台 (318台) バイク95台 (98台) 立川駅北口臨時:自転車1,470台 (1,526台) 西地下道:自転車427台 (496台) 西国立駅第一:自転車135台 (139台) 西国立駅第二:自転車228台 (76台) バイク15台 (10台) 西国立駅第三:自転車70台 (75台) 西立川駅:自転車187台 (193台)</p> <p>【一時利用 平均利用台数】 ()内は前年度 自転車合計 2,470台 (2,083台) バイク合計 184台 (173台) 立川駅南口第二:自転車560台 (472台) バイク135台 (128台) 立川駅南口立体:自転車120台 (122台) 立川駅南口第一タワー:自転車38台 (30台) 立川駅南口第二タワー:自転車50台 (45台) 立川駅北口第一:自転車184台 (107台) 立川駅北口第三:自転車496台 (457台) バイク45台 (41台) 立川駅北口臨時:自転車441台 (321台) 西地下道:自転車126台 (114台) 西国立駅第二:自転車199台 (172台) バイク4台 (4台) 西国立駅第三:自転車154台 (141台) 西立川駅:自転車102台 (102台)</p>	A	<p>基本的事項については、概ね仕様書及び事業計画どおり実施されている。</p> <p>定期利用と一時利用の合計では、自転車、バイクともに、1日の平均利用台数は前年度より微増となっている。</p> <p>賃金単価については、法令等遵守されている。</p> <p>全体としては、前年度よりも、売り上げは上回っている。</p> <p>運営初年度のため、初期投資経費により、事業収支はマイナスになっている。次年度の改善が望まれる。</p>	A
運営企画	自転車安全点検キャンペーンの実施	A		
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:133,200,000 支出:152,282,309円 事業収支:▲19,082,309円 人件費比率:49.53% 使用料収入 195,809,350円(前年度174,546,300円)	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	動産総合保険・施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
第三者への委託状況	緊急出動対応、集金回収、ごみ回収、定期更新機・電磁ロック駐輪機・ゲート等保守・メンテナンス	A	提案に基づき、様々な新たな取り組みを実施し、利用者サービス向上に努めた。	A
新たな取り組みの状況	安全点検キャンペーン、管理室機械警備設置、満空WEBシステム、サポートセンター対応、防犯カメラ設置、交通系IC(Suica・Pasmo)への対応、定期更新システム導入、一時利用の機械化	A		
提案の実施状況	電磁ロック式駐輪機器設置、管理室機械警備設置、満空WEBシステム、各種マニュアル整備、サポートセンター対応、防犯カメラ設置、空気入れ・チェーン等の設置、場内掲示物の設置、プリペイドカード導入、レンタサイクルの実施、交通系ICへの対応、定期更新システム導入、安全点検キャンペーンの実施、利用者アンケート、管理員研修、歩道上駐車場の整備	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇研修やOJTを実施し、適切な対応に努めた。	A	マニュアルを整備し、適切に業務を行った。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を接遇の参考にしている。 機械式駐輪機の導入により、公平・公正な利用が確保されている。	A
マニュアルの整備	マニュアルに基づき、適切に実施された。	A		
研修・教育の実施状況	本社にて、外部講師による研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月、業務調整会議を実施し、苦情対応、修繕、改善策について共有した。	A		
利用者アンケート等の実施	全駐車場で実施し、結果を場内掲示により公表した。	A		
公平・公正利用の確保	定期空台数の掲示等により、公平・公正利用に努めた。	A		
業務の点検	第三者機関による点検を実施した。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施した。	A	仕様書どおり、適切に管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
小規模修繕	場内蛍光灯の交換等、適切に実施した。	A		
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理した	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	本社にて個人情報取扱研修を実施した。	A	研修やマニュアルにより、適切に実施された。	A
個人情報等秘密の保持	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A		
適正な管理	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A		
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	本社にて個人情報取扱研修を実施した。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	以下の事案、苦情、要望等があったが、概ね適切に対応された。 ・バケツ、スプレー缶、バッテリー等の放置 ・サドル盗難やタイヤに画鋲を刺されるなどの悪戯 ・駐輪番号が夜間見にくいという苦情 ・不審者の寝泊り ・係員の勤務態度についての苦情 ・管理の状況についての苦情 ・不正利用への厳格な対処を望む要望	A	苦情・要望等に対しては、適切に対応された。運営開始当初は職員の対応等に関する苦情が見られたが、後々までのトラブルとなることはなく、着実に改善されてきている。	A
事故の予兆に対する対応	場内走行禁止掲示物による注意喚起、降雪予報時の除雪作業員・スコップ・融雪剤の配置			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	利用者への声かけ注意喚起、消防訓練の実施、深夜巡回の実施	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	周辺施設の清掃、放置自転車クリーンキャンペーンへの参加などにより地域連携に取り組んだ。	A	地域との連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	特に問題なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	機械式駐輪機の導入やブロック構成の変更などのため、比較は困難である。	—		—
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
運営開始当初はマニュアルの設置が遅れたり、職員への教育が不徹底であったりして市へ苦情が入ることもあったが、徐々に改善されてきている。指摘に対する対応等も迅速に行われ、苦情にも適切に対応しており、全体としては適切な運営が行われていると認め、A評価とする。		A	機械式駐輪機の導入やコールセンター設置により、効率的で均質なサービス提供に努めている。 運営開始初年度ということで課題も見られたが改善されている。以上より、水準通りの運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第2ブロック)	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社	平成26年4月1日から平成31年3月31日(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に沿って、適切に運営した。	A	施設の設置目的を理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	現場責任者によるOJTや統括・副統括の相互巡回により、逐次指導を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	24時間稼働の機械式駐輪機の導入や、一時利用満車時の場内空きスペースの有効活用により、公平・公正に利用できる環境を整備した。	A		
事業の継続性の担保	新人時のOJT研修後、常に経験者がフォローする体制で業務を行っている。雇用の安定のため、勤務シフトの対応に努めている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 職員数:正規2人、契約4人、パート13人 契約・パート社員 時給930~1,050円	A	基本的事項については、概ね仕様書及び事業計画どおり実施されている。 定期利用と一時利用の合計では、1日の平均利用台数は前年度より、自転車は微減、バイクは微増となっている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 定期利用は料金改定に向けて1か月定期のみの販売であったため、全体としては売り上げは微減となった。 運営初年度のため、初期投資経費により、事業収支はマイナスになっている。次年度の改善が望まれる。	A
利用状況	【定期利用 平均利用台数】()内は前年度 自転車合計 1,265台(1,404台) バイク合計 57台(56台) 西武立川駅北口:自転車283台(295台) 武蔵砂川駅第一:自転車631台(790台) バイク29台(29台) 武蔵砂川駅第二:自転車351台(319台) バイク28台(27台) 【一時利用 平均利用台数】()内は前年度 自転車合計 559台(528台) バイク合計 12台(11台) 西武立川駅北口:自転車148台(157台) 武蔵砂川駅第一:自転車366台(333台) バイク8台(4台) 武蔵砂川駅第二:自転車45台(38台) バイク4台(7台)	A		
運営企画	無料自転車安全点検キャンペーン	A		
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:28,252,000円 支出:31,841,960円 事業収支:▲3,589,960円 人件費比率:49.9% 使用料収入 45,763,050円(前年度43,535,700円)	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	動産総合保険・施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	緊急出動対応、集金回収、ごみ回収、定期更新機・電磁ロック駐輪機保守・メンテナンス	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
新たな取り組みの状況	安全点検キャンペーン、管理室機械警備設置、満空WEBシステム、サポートセンター対応、防犯カメラ設置、交通系IC(Suica・Pasmo)への対応、定期更新システム導入、一時利用の機械化	A	提案に基づき、様々な新たな取り組みを実施し、利用者サービス向上に努めた。	
提案の実施状況	電磁ロック式駐輪機器設置、管理室機械警備設置、満空WEBシステム、各種マニュアル整備、サポートセンター対応、防犯カメラ設置、空気入れ等の設置、場内掲示物の設置、プリペイドカード導入、交通系ICへの対応、定期更新システム導入、安全点検キャンペーンの実施、利用者アンケート、管理員研修	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇等の各種研修を実施し、適切な対応に努めた。	A	マニュアルを整備し、適切に業務を行った。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を接遇の参考にしている。 機械式駐輪機の導入により、公平・公正な利用が確保されている。	A
マニュアルの整備	マニュアルに基づき、適切に実施された。	A		
研修・教育の実施状況	本社にて、外部講師による研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月業務調整会議を実施し、苦情対応、修繕、改善策について共有した。	A		
利用者アンケート等の実施	全駐車場で実施し、結果を場内掲示により公表した。	A		
公平・公正利用の確保	定期空台数の掲示等により、公平・公正利用に努めた。	A		
業務の点検	第三者機関による点検を実施した。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施した。	A	仕様書どおり、適切に管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
小規模修繕		—		
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	本社にて個人情報取扱研修を実施した。	A	研修やマニュアルにより、適切に実施された。	A
個人情報等秘密の保持	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A		
適正な管理	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A		
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	本社にて個人情報取扱研修を実施した。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	以下の事案、意見・要望等があったが適切に対応された。 ・雑草などのせん定管理の要望 ・機械式ラック導入による台数減に対する意見 ・一時利用ラック凍結 ・職員対応についての苦情	A	苦情・要望等に対しては、適切に対応された。運営開始当初は職員の対応等に関する苦情が見られたが、後々までのトラブルとなることはなく、着実に改善されてきている。	A
事故の予兆に対する対応	場内走行禁止掲示物による注意喚起、降雪予報時の除雪作業員・スコップ・融雪剤の配置			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	利用者への声かけ注意喚起、消防訓練の実施	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	周辺施設の清掃、放置自転車クリーンキャンペーンへの参加などにより地域連携に取り組んだ。	A	地域との連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	特に問題なし	A	特に問題なし	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	機械式駐輪機の導入やブロック構成の変更のため、比較は困難である。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
運営開始当初はマニュアルの設置が遅れたり、職員への教育が不徹底など、市へ苦情が入ることもあったが、徐々に改善されてきている。指摘に対する対応等も迅速に行われ、苦情にも適切に対応しており、全体としては適切な運営が行われていると認め、A評価とする。		A	機械式駐輪機の導入やコールセンター設置により、効率的で均質なサービス提供に努めている。運営開始初年度ということで課題も見られたが改善されている。以上より、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市営駐車場	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
公益財団法人東京都道路整備保全公社	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に基づき管理運営を行い、立川駅周辺の交通渋滞緩和に貢献した。	A	公の施設の役割と、市の代行者の立場であることへの理解は深く、適切に業務を行っている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月のCSリーダー研修ほか各種研修により、職員の意識向上に取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	各駐車場への管制機器設置等により、公平・公正に利用できる環境を整備している。	A		
事業の継続性の担保	業務に精通した職員を配置しているほか、市営駐車場の管理運営に経験のある職員を採用し、事業継続性の確保に努めている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 契約社員 日給8,000円 合計15名	A	基本的事項は事業計画のとおり実施された。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用台数は、前年度を下回った。これは、近隣の民間駐車場の運営や、消費税増税、ガソリン価格高騰など、外的要因の影響もあると考えられる。	A
利用状況(利用台数)	【時間貸】()内は前年度 合計320,112台(338,735台) 北口第一:239,189台(255,857台) 緑川第四:30,508台(32,866台) 緑川第五:15,645台(17,209台) 緑川第六:11,141台(8,196台) 南口第一立体:8,058台(6,453台) 南口第二立体:15,571台(18,154台) 【定期利用】()内は前年度 合計1,737台(1,975台) 北口第一:544台(663台) 緑川第六:947台(1,056台) 緑川第七:167台(174台) 南口第一立体:32台(34台) 南口第二立体:47台(48台)	A		
運営企画	夜間限定定期料金の開始、定期台数見直しによる時間制利用確保、身障者割引対応時間の拡大、オートバイの機械化、スマートフォン精算・ポイント還元・法人会員の導入、オートバイ収容台数の拡大、荷捌き駐車場の受入、EV充電器の設置、エレベーターチェアの設置、グリーン電力証書発行	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:251,798,310円、支出:272,037,630円 事業収支:▲20,239,320円 人件費比率:38.8% 1台あたり管理コスト:845円 市への納付金(基本納付額)140,000,000円	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	自動車管理者責任賠償保険、施設管理者賠償責任保険、現金動産・機械動産保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	さまざまな新たな取り組みを意欲的に行い、利用者サービスの向上に結び付いている。	
第三者への委託状況	清掃、機械警備、諸設備管理・点検、消防設備点検、精算機保守点検、駐車機器保守点検、交通誘導、売上金回収、駐車場管理システムの保守・運用支援、定期料金の収納代行	A	運営初年度の初期経費等により、収支はマイナスとなった。次年度以降の改善を望む。	A
新たな取り組みの状況	夜間限定定期料金の開始、定期台数見直しによる時間制利用確保、身障者割引対応時間の拡大、オートバイの機械化、スマートフォン精算・ポイント還元・法人会員の導入、オートバイ収容台数の拡大、荷捌き駐車場の受入、EV充電器の設置、エレベーターへのレスキューチェア設置、グリーン電力証書発行	A	収支については、計画と実績にかい離があった。 市への納付金は、基本分のみにとどまった。	
提案の実施状況	夜間限定定期料金の開始、定期台数見直しによる時間制利用確保、身障者割引対応時間の拡大、オートバイの機械化、スマートフォン精算・ポイント還元・法人会員の導入、オートバイ収容台数の拡大、荷捌き駐車場の受入、EV充電器の設置、エレベーターへのレスキューチェア設置、グリーン電力証書発行	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	各種研修を実施し、挨拶、接遇、服装、利用者説明等について、高い意識で取り組んだ。 S評価・・・利用者への説明	S×1 A×4		
マニュアルの整備	利用者対応、事故・事件対応、防犯対策等の各種マニュアルを整備し、業務を行っている。	A		
研修・教育の実施状況	接遇、個人情報取扱、管制機器操作、不具合時の緊急対応等、各種研修を実施した。	A	駐車場の案内だけでなく、近隣施設に関する問合せにも対応できるよう、情報把握に努めた。	
所管部署との連携・連絡	毎月の業務調整会議により情報共有している。緊急時の連絡体制も整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、各駐車場で結果を公表している。	A	職員の対応については、利用者アンケートでも高い評価となっている。	A
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレット、ホームページ、駐車場案内サイト等により、PRに努めた。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出し、閲覧できる状況である。	A	仕様書や業務マニュアルに基づき、適切に業務を行った。	
公平・公正利用の確保	全駐車場に管制機器を設置し、公平・公正に利用できる環境を整備している。	A		
業務の点検	毎月モニタリングチェックシートを作成し、市へ提出している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画等に基づき、適切に実施された。	A	適切に実施された。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画等に基づき、適切に実施された。	A		
保安・警備	事業計画等に基づき、適切に実施された。	A		
小規模修繕	棟屋はしご破損、門扉破損、エレベーターマット交換、休憩室エアコン交換、消火器・収納ボックス修繕、非常誘導灯交換、外柵一部交換、オートバイ車室滑り止め舗装、蛍光灯交換、消防設備用バッテリー交換	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適正に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護の重要性を十分に認識し、事故防止を徹底している。	A	職員への意識づけ、システム面での対応ともに高い水準で徹底されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定に基づき、適正に管理されている。	A		
適正な管理	契約者情報等は、専用サーバーによるシステムにより、厳重に管理されている。	A		
再委託の禁止	市の承諾に基づき、適正に実施している。	A		
研修・教育の実施	毎年、全職員が研修に参加するとともに、管理職による個別の指導も行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	社内規程に基づき作成した、個人情報保護・情報セキュリティハンドブックを全職員が所有している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	移動式粉末消火設備に車両が接触し破損する事故が2件あったが、適切に対応された。	A	事故への対応や事故防止への取り組みは良好に行われた。	A
事故の予兆に対する対応	・劣化したエレベーターマットの交換 ・オートバイ区画の路面を滑り止め舗装に改修 ・破損した蛇腹門扉を改修し、安全上・防犯上の危険に対応			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	各種マニュアルに基づき、事故防止に努めている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の団体と連携し、立川駅周辺の交通環境改善に取り組んでいる。 S評価・・・年末合同パトロールへの参加等地域との積極的な連携	S×1 A×4	地域との連携に積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(9) その他特記事項・追加評価項目				
精算機器の入れ替え	精算機の老朽化に伴い、市や機器メーカーと連携し、営業に支障をきたすことなく入れ替えを行った。	A	適切に実施された。	A
(10) 立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	6,433,792円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>第3期目の指定管理者として5年間の管理運営の初年度に当たり、クレジットカード・電子マネー決済やインターネットでの駐車場情報の提供など前指定管理者が実施していた主要なサービスを継続したほか、北口第一駐車場での夜間定期貸しや荷捌き車両の受入れ、緑川駐車場での障害者減免の24時間対応化やオートバイ入出庫の機械化による24時間利用化などの新たな施策も開始し、利用者サービスの向上を図ってきた。</p> <p>効率的な運営については、北口第一駐車場と緑川駐車場でのレイアウト変更によるバイク収容台数の増設や緑川駐車場での定期貸しスペースへの時間貸し需要の取り込みなどの新たな方策を講じ収益の向上にも努めたが、低料金の民間駐車場の経営や消費税増税、ガソリン価格の高騰などの影響もあり利用料金は減収となった。</p> <p>公の施設であることをよく認識し、接遇の向上をはじめ個人情報の保護、危機管理対応、災害時対応、環境対策などにも積極的に取り組んでおり、地域との連携にも努める姿勢が見て取れた。</p> <p>以上のことから総合評価はA評価とする。</p>		A	<p>様々な新たな取り組みにより、利用者サービス向上につながった。</p> <p>安全管理や個人情報保護、地域貢献など、特に公の施設に期待される項目について、高い水準で取り組んでいる。</p> <p>職員の対応は、利用者アンケートでも高い評価となっている。</p> <p>マイナスの外部要因もあり収支改善が課題であるが、管理・運営は良好に行われたと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市八ヶ岳山荘	公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社レストラン・ピガール	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	市条例に従って管理と営業に努めた。また、一般の宿泊施設とは違う、立川市の山荘の存在意義を十分に理解して、管理運営にあたった。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月に1回以上本社の役員が現地の責任者に指導したり、本社の衛生管理委員会の職員が随時、現地で指導、点検を行った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	法令遵守し、公平・公正利用を確保した。	A		
事業の継続性の担保	本社と現地の連絡を緊密にとり、各業務の把握に努めている。繁忙期等には正社員を派遣しており、仮に山荘職員に欠員が生じても対応できるようにしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:365日 開館時間:24時間 職員配置:正社員9名、嘱託2名 給与単価:年収235万円～483万円 嘱託 日給15,000円	A		
利用状況	【利用者数】12,720人(前年度12,552人) 〔内訳〕 一般利用者 7,961人(前年度7,939人) 学校利用 3,720人(前年度3,570人) ※小学校3,504人、中学校216人 青少年団体 1,022人(前年度1,003人) 日帰り 17人(前年度40人)	A		
運営企画	バスツアーの実施(2回)、小学校のハイキングに道案内ガイドを無料提供、フェイスタオル・歯ブラシ・バスタオルの提供、送迎、木工教室・お餅つき・星を見る会等のイベント実施、市内での夕食試食会、大学ゼミ合宿プラン販売	A	平成21年度の指定管理者制度導入以降、毎年一般利用者を増加させている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:77,166,213円、支出:75,371,827円 内訳 指定管理料:56,332,000円 利用料金収入:11,509,200円(施設使用料) その他事業収入:8,209,709円(食事・売店等) 事業収支:1,794,386円 人件費比率:54.1% 外部委託費比率:7.85% 指定管理料及びその他の収入で適正に事業を行うことができた。	A	基本的事項については、実施計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償保険・旅館施設保険 支払限度額:10億円 旅館・施設賠償保険に自主的に加入したほか、協定の水準を超えても必要な経費は支出した。	A	大学ゼミ合宿プランの販売など、新たなサービスを実施し、好評を得ている。	
第三者への委託状況	施設保守点検・定期清掃、定期消毒、ごみ処理、 自家用電気工作物保安検査	A	一般宿泊者については、フェイスタオルや歯ブラシセットなどのアメニティーを提供している。	
新たな取り組みの状況	大学のゼミ合宿勧誘のためのプラン創設	A	設備修繕を積極的に行い、施設の安定的な運営に努めている。	
提案の実施状況	アメニティーの提供、自炊棟の鍋の購入、小学校のハイキング時の道案内ガイドの派遣、閑散期割引、バスツアーの実施、各種イベントの実施、送迎、夕食のバーベキューへの変更、緊急時対応、宿泊棟の整備	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	研修、日々のミーティングでチェックし取り組んでおり、98%以上の利用者から良い評価があった。	A	各種マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 施設の性格上、接客には特に力をいれている。 利用者アンケート結果は非常に高く、利用者から見た評価は際立っている。 事業計画・報告書の公表も行っている。	A
マニュアルの整備	衛生管理、災害時対応、消防、接客の各マニュアルに基づき業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	各分野の講習を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に、また随時、速やかに連絡を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレット・チラシを作成し配布している。ホームページに利用案内や空室情報を掲載している。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	条例等をよく理解し、公平利用に努めた。	A		
業務の点検	毎日ミーティングを行いチェックしている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	体育館外壁修繕、宿泊棟調整ポンプ交換、宿泊棟放流ポンプ交換、本館非常用バッテリー交換、本館ドア部品交換	A		
備品管理	備品台帳を作成し適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、職員を指揮監督している。	A	適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	支配人により、適正に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	必要な研修を実施した。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特に事故・苦情はなかった。	A	事故を未然に防ぐ取り組みがなされている。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	各種訓練を実施し、敷地内及び館内の見回りに努めている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みを行った。災害発生時の連絡体制も確立されている。避難訓練を3回実施したほか、緊急時の炊き出し訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	清里学校寮地区での長年の受託実績により、地域や各種機関との関係を構築している。	A	地域との関係は良好である。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	8,828,525円の削減。(平成20年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>平成21年度の指定管理者導入以降、毎年一般利用者数を増加させていることは評価に値する。</p> <p>小学校のハケ岳自然教室に於けるハイキングの道案内ガイドを1名増員し、児童の安全確保に努めている。引率の教諭も若手が多く、自然環境での活動に不慣れであることから、ガイドの役割は大変重要である。ハイキング中の事故もなく、児童の安全・安心に十分な配慮がなされている。</p> <p>衛生管理面でも、昨今多発するアレルギー食材に起因する事故や、ウィルスによる食中毒などの事故を受けて、衛生管理に関する研修、食材仕入れ先の確認、利用者への手洗い等の呼びかけにより、より一層強化が図り、堅実に運営を行っている。</p> <p>経年劣化する施設の維持管理に対して、速やかな対応がなされている。日々施設の点検を行い、所管課への連絡も敏速に行われ、限られた予算の中で適切に努めている。協定の範囲を超える修繕についても、施設の安全な運営のため、自主的に負担し対応している。</p> <p>利用者アンケートでは、「食事」「施設」「サービス」のすべてにおいて、「非常に良い」「良い」以上の評価が95%以上であり、評価は高い。リピーターの利用者が年々増え、着実な一般利用者の増加もみられることから、指定管理者制度の目的である、「民間の活力を利用して、より良い市民サービスの提供」が達成されていると考えられ、高く評価できる。</p>		A	<p>エリア全体の集客力が落ち込む中、一貫して利用者増を続けてきたことは高く評価できる。</p> <p>老朽化する施設・設備に対し、適切に対応しながら、安定的な運営に努めている。</p> <p>利用者アンケートの評価も高く、質の高いサービスが提供されていると判断できる。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市滝ノ上会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市滝ノ上会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的の達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:328日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 51,245円 昼・夜勤務 51,465円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:20,283名(前年度16,618名) 利用件数:1,243件(前年度1,091件) 平均施設使用率:41.2%(前年度38.1%)	A		
運営企画	広報発行、利用者懇談会、委員研修会・懇談会、新年懇談会 S評価・・・会館まつり、ふれあいコンサート	S×2 A×4		
事業収支	収入:3,372,268円、支出:3,372,268円 * 指定管理料3,182,604円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	ガス台修理、照明器具交換	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が図れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>滝ノ上会館は、地域の住民にとって学習、また趣味や娯楽といった活動の拠点となっており、開館以来、利用者の方々や地域の諸団体と一体となりながら、富士見町の文化を盛り上げてきた。また、会館の活動方針に「子どもの居場所づくり」を掲げ、地域の子どもに開かれた会館であることを心がけており、小学校PTA等との連携のもと、子どもが参加しやすい企画を数多く実施している。</p> <p>その成果もあってか、会館の事業には子どもをはじめ幅広い年代の参加者が集える場として、地域に定着している。例えば会館まつりでは、地元小中学生と地域サークルによる演奏会や、子ども連合会によるゲームコーナー、アクセサリ作り等、意欲的な取り組みも行われている。また、立川市地域文化振興財団との共催で行う「富士見町ふれあいコンサート」では、プロの演奏家のステージを楽しめるだけでなく、地域の中学校吹奏楽部OB有志で結成されたプラスバンドによる演奏会も催されるとあって、子どもから大人まで約200名に及ぶ大勢の地域住民が来館し賑わう。こうした地域に密着した事業を軸に、会館が世代間を超えた地域住民の交流の場としての役割を果たしている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こんびら橋会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こんびら橋会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:330日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 月給:昼勤務 77,660円 昼・夜勤務 57,140円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:22,805名(前年度21,985名) 利用件数:1,752件(前年度1,632件) 平均施設使用率:48.7%(前年度46.4%)	A		
運営企画	広報発行、地域懇談会、新年賀詞交換会、管外研修 S評価・・・会館まつり、講演会	S×2 A×4		
事業収支	収入:3,317,208円、支出:3,317,208円 *指定管理料3,267,082円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、広報にて結果を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	ガス台修繕 等	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>こびら橋会館は、砂川地域のコミュニティセンターとして、地域の住民、また各種団体と多面にわたって協力しながら、会館の管理運営を行っている。</p> <p>例えば施設管理の面では、毎年5月連休の休館日を利用して、管理運営委員を中心に、地域のボランティアの力を借りて施設内の整備・清掃を行っている。また、24年度から予算化された指定管理料の修繕費を活用した軽修繕等も積極的に実施し、管理運営委員、地域の利用者が協力して施設の維持保全に努めている。</p> <p>さらに、コミュニティ事業についても、会館まつりでは利用者団体による芸能発表のほか、子ども向けの無料の模擬店など、地域のお祭りならではの企画を用意し、毎年大勢の来館者で賑わいを見せている。この他にも、社会福祉協議会の協力のもと、「孤立のないまちづくり」をテーマとした講演会や、地元選出市議を迎え地域の課題について意見交換を行う討論会など、地域や時事を意識した事業を積極的に展開している。</p> <p>一方、開館から30余年を過ぎ、会館の老朽化に関する指摘は利用者・管理人双方から挙がっており、今年度も修繕や調査を要する事態が複数発生した。安心・安全な利用のためにも今後もきめ細やかな維持管理が必要といえる。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市高松会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的で開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:305日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 月給:昼勤務 79,446円・80,276円 夜勤務 42,552円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:16,993名(前年度14,773名) 利用件数:1,093件(前年度1,064件) 平均施設使用率:35.9%(前年度34.9%)	A		
運営企画	広報発行、AED講習会、利用者懇談会 S評価・・・会館まつり、高松町文化祭	S×2 A×3		
事業収支	収入:3,173,310円、支出:3,173,310円 *指定管理料3,144,848円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて内容を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	クロス張替	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>高松会館は、地域コミュニティの拠点施設として、地域に密着した会館運営や企画づくりを心がけている。そのため地域の諸団体とは様々な面で協力しており、会館まつりなど会館が主催する行事に対して支援を受けているほか、会館としても自治連高松町支部、競輪場周辺対策協議会等、地域の各種団体が実施する行事に協力・協賛している。また、毎月開催している管理運営委員会では、各団体間の情報交換の場としての役割も兼ねており、このように会館が地域の諸団体と連携し、一体となりながら、高松町の地域活動を盛り上げている。</p> <p>また、施設の2階は高松児童館となっており、平成24年度より指定管理者による運営が行われている。高松会館では、他の学供施設には無いこの特徴を生かし、積極的に児童館との連携を図っている。例えば会館広報には児童館の行事案内等を積極的に掲載しているほか、会館まつりでは児童館職員及び地域の子どもたちによる模擬店、ゲーム企画等が実施され、児童館との連携により、会館を拠点に世代を超えた交流が生まれている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市若葉会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的を開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的を開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時5名 月給:昼勤務 56,480円 夜勤務 26,570円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:32,563名(前年度31,405名) 利用件数:1,877件(前年度1,737件) 平均施設使用率:47.7%(前年度45.4%)	A		
運営企画	広報発行、利用者懇談会、講座(かるた作り)、新春の集い、講座(健康セミナー) S評価・・・会館まつり及び併催講座(スポーツ吹き矢体験)	S×2 A×5		
事業収支	収入:3,389,991円、支出:3,389,991円 *指定管理料3,170,960円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	排煙窓補修、柱・壁補修	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>若葉会館では、会館広報の発行、講座の開催、会館まつりの実施を、会館三大事業と位置づけており、地域の各種団体と協力しながら、管理運営委員会を挙げてこれらの事業に取り組んでいる。</p> <p>会館広報の発行については年3回行っているが、とりわけ毎年7月に発行する各種団体との合同広報では、会館のみならず自治会、文化会、体育会、青少健、子ども会など、地域の各団体の情報を掲載し、手配りで町内全戸配布を行っている。</p> <p>また、主催講座を年3回実施しており、いずれも地域住民の好評を博している。今年度は「若葉町のかるたを作ろう」「スポーツ吹き矢」「若葉健康知っ得セミナー」をテーマとする等、地域に密着した意欲的な取り組みを行っている。</p> <p>さらに、若葉会館では、会館まつりを地域の子どもの主体のイベントとしており、地元の小中学校児童・生徒の作品展示や演奏発表をはじめ、子供向けのおはなし会や工作教室などが開催される。また1階の若葉図書館の協力による古本の頒布や、地域の各種団体による模擬店、地元野菜の販売も人気企画として定着しており、子どもはもちろん、大人も存分に楽しめる、地域交流の場となっている。</p> <p>こうした精力的な取り組みを通して、若葉会館は子どもから大人まで、地域の誰もが集える場として、地域コミュニティの要として機能している。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こぶし会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こぶし会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 89,320円 夜勤務 36,150円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:40,537名(前年度38,568名) 利用件数:2,327件(前年度2,332件) 平均施設使用率:41.9%(前年度40.7%)	A		
運営企画	広報発行、利用者懇談会、賀詞交換会 S評価・・・会館まつり、ファミリーコンサート	S×2 A×3		
事業収支	収入:3,753,068円、支出:3,753,068円 *指定管理料3,728,842円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	障子紙・ブラインド・便座等交換	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>こぶし会館は、幸町と柏町の二町にまたがる会館であり、それぞれの地域の各種団体から選出された委員により運営されており、この二町の地域活動に様々な形でかかわっている。</p> <p>加えて、学習等供用施設11館の中で施設規模が最も大きく、また立川駅からモノレールもしくはバスでのアクセスが可能で、交通の便が良い施設であることから、市外を含む他地域からの利用や、行政の事業での利用が他館に比べて多いという特徴がある。また、施設1階の一部は、指定管理者が運営する幸図書館となっている。</p> <p>こうした事情により、こぶし会館には毎日多数の方が出入りしている。そのため施設の安全管理には特に気を配っており、利用者や図書館も交えての避難訓練を実施するなどして、安全意識の向上に努めている。開館から30年近くが経過し施設の老朽化がみられ、今年度も空調機やエレベータ等の修繕を要した。このため、管理人がこまめに館内の施設・設備の状況を確認し、不具合を発見した際には早急に対応するよう心がけている。</p> <p>一方で、二町にまたがるという規模の大きさを生かして、会館の各種事業も大変盛大に行われている。例えば5月の会館まつりは2日間にわたって開催され、利用者の芸能・作品発表や模擬店等で、毎年大盛況となっている。また、立川市地域文化振興財団との共催で12月に開催する「こぶしファミリーコンサート」も、プロの奏者の演奏が気軽に楽しめるとあって、大勢の来場者で賑わい、地域の住民にとっては、子どもから大人までが集える年末の恒例行事となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣中央会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市羽衣中央会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的で開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:344日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 月給:昼勤務 90,000円 夜勤務 49,080円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 運営企画の参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:26,660名(前年度28,620名) 利用件数:1,485件(前年度1,582件) 平均施設使用率:38.1%(前年度40.9%)	A		
運営企画	広報発行、利用者懇談会、館外研修、賀詞交換会 S評価・・・会館まつり、講演会	S×2 A×4		
事業収支	収入:3,847,703円、支出:3,847,703円 *指定管理料3,466,522円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	障子紙・蛍光管等交換	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>羽衣中央会館は、羽衣町の地域活動の拠点として、地域内の各種団体と連携しながら、地域に密着した管理運営を行っている。実施事業については、会館の主要なコミュニティ事業である会館まつりを文化会の文化祭と合同で2日間にわたり盛大に実施する等、地域内の各種団体との共催というかたちで事業を行うことが多く、より多くの地域住民に会館を知ってもらい、また参加してもらえよう取り組んでいる。さらに会館管理運営委員会としても、地域内の各種団体が主催する様々な行事に積極的に協力、参加しており、多方面にわたって地域に密着した活動を行っている。</p> <p>また、鮮やかなフルカラー印刷が目目を引く会館広報を、年3回発行している。広報では、会館の情報のみならず、地域で開催される様々な事業について案内を掲載しており、地域の情報発信源として、会館が各種団体を繋ぐ役割を果たしている。</p> <p>一方、施設管理の面についても、利用者懇談会で寄せられる様々な要望に対し、設備機器の買い換えや軽微な修繕など、会館独自で行える場合には、指定管理料の修繕費を活用するなどして、優先順位をつけながら迅速に対応している。このように、地域のあらゆる活動の拠点である会館を少しでも快適に利用してもらえよう、常に利用者の声に耳を傾けながらの管理運営を心がけている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市天王橋会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市天王橋会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:307日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 73,384円・73,390円 夜勤務 27,750円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:20,288名(前年度18,930名) 利用件数:1,185件(前年度1,090件) 平均施設使用率:41.8%(前年度39.9%)	A		
運営企画	広報発行、利用者懇談会、16ミリ映画会、防災訓練講習会、わいわい教室、カラオケ団体交流会 S評価・・・会館まつり、みんなのコンサート	S×2 A×6		
事業収支	収入:3,219,797円、支出:3,219,797円 *指定管理料3,144,848円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	水道蛇口交換、椅子等修理、駐車場整備	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>天王橋会館は、一番町地域のコミュニティ拠点として、多くの地域住民に親しまれている。管理運営委員会の活動にも地域の住民が自主的に参加・協力し、特に施設管理の面においては、個人の特技を活かして軽微な修繕や植木の世話などをボランティアで行っており、会館はこうした善意により支えられている。</p> <p>また、コミュニティ事業についても、地元の小中学校から多くの児童・生徒やPTAが組織的に参加しており、こうした地域のボランティアの協力を受けて運営されている。毎年6月に行われる会館まつりでは、表の駐車場など広い敷地を活かして、地域の諸団体による多数の模擬店が並び、また館内では利用者による作品展示や芸能発表が行われ、世代を超えて多くの来館者で賑わっている。また立川市文化振興財団との共催で11月に行われている「一番町みんなのコンサート」では、地元小・中学校吹奏楽部や和太鼓クラブによる演奏、プロの奏者による演奏も行われ、子どもから大人まで地域の誰もが楽しめるイベントとなっている。会館が所有する映写機を使った「16ミリフィルム上映会」や合唱・体操・餅つき等を実施する「わいわい教室」、カラオケ団体合同による自主交流会(発表会)等、特色ある自主事業は数多く、様々な場面で地域の住民が集う場として、会館は地域に欠かせない施設となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市柴崎会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的の達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:245日(7～9月は空調機改修工事のため全館休館) 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 月給:昼勤務 86,400円 夜勤務 40,125円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:20,509名(前年度29,217名) 利用件数:1,521件(前年度2,136件) 平均施設使用率:56.2%(前年度64.5%)	A		
運営企画	広報発行、利用者懇談会、合同賀詞交換会、健康講座、防災訓練 S評価・・・会館まつり、柴崎ふれあいまつり	S×2 A×5		
事業収支	収入:3,310,768円、支出:3,310,768円 * 指定管理料3,272,662円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保持するよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	トイレフラッシュバルブ修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>柴崎会館の管理運営委員会には柴崎町内すべての自治会の代表が参加しており、地域住民の活動の場として、会館は地域になくてはならない施設として認知されている。したがって、地域内の様々な情報は会館に集約され、言わば会館が地域諸団体の事務局として、情報発信・伝達の機能を兼ね備えている。</p> <p>このように地域団体の強い結束に支えられた柴崎会館は、コミュニティ事業の実施においても、会館まつりなど、管理運営委員会を中心に各団体の協力のもと行っている。逆に自治連柴崎町支部が主催する柴崎ふれあいまつりにも管理運営委員会として全面的に協力するなど、他団体の事業に対しても積極的に支援するようにしている。</p> <p>柴崎会館は今年度、10～12月にかけて大規模な空調機改修工事を行い、これに合わせて各種施設修繕も行った。また、これまで柴崎学童保育所であった1階フロアについて会館の多目的室としての利用が始まった。会館を挙げて地域コミュニティの拠点としての施設使用率の向上に取り組んでおり、その成果もあって、近隣に柴崎学習館があるという立地状況の中、会館の使用率は他の学習等供用施設と比較しても高水準を維持している。</p> <p>このように地域の全面的な協力のもと、地域に密着した管理運営を行っている柴崎会館は、地域にとって不可欠な施設となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市さかえ会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市さかえ会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:333日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 77,000円 昼・夜勤務 41,701円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:29,862名(前年度31,629名) 利用件数:2,112件(前年度2,261件) 平均施設使用率:60.0%(前年度62.9%)	A		
運営企画	広報発行、利用者懇談会、AED講習・避難訓練、館外研修、合同賀詞交換会、料理教室 S評価・・・会館まつり、「志民講座」	S×2 A×6		
事業収支	収入:3,870,038円、支出:3,870,038円 *指定管理料3,584,682円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特に無し			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	屋外ベンチ修繕 等	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>さかえ会館は、栄町のほぼ中心に位置し、また近隣に学習館等のサークル活動ができる施設がないこともあり、栄町における各種活動の拠点として、多くの地域住民に利用されている。定例的に会館を利用している団体も多く、会館の利用率、利用者数、利用件数のいずれも、学供施設全11館の中で上位に位置している。会館としても更なる利用率、利用者数の向上に努めている一方で、特に毎月の受付初日などは利用の重複などで混乱をきたすことが無いよう、管理人の指導を徹底しており、公平・公正な受付業務を心がけている。</p> <p>また、実施事業が多いこともさかえ会館の特徴であり、毎年6月の会館まつりを皮切りに、料理教室、講演会(志民講座)等、多種多様な事業を企画し、いずれも好評を博している。とりわけ会館まつりでは、地元の小学校金管バンドの演奏やフリーマーケットなどが開催され、地域の誰もが楽しめるお祭りとして大変なにぎわいを見せている。</p> <p>こうした地域への積極的な働きかけにより、多くの地域住民が集う場、機会を提供しているさかえ会館は、地域のコミュニティセンターとして、大いに機能している。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市西砂会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:294日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 75,000円 夜勤務 26,000円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:11,650名(前年度8,353名) 利用件数:680件(前年度456件) 平均施設使用率:31.0%(前年度27.5%)	A		
運営企画	広報発行、お茶作り教室、そうめん流し、利用者懇談会、手打ちうどん作り道場、まゆだま飾りS評価・・・会館まつり、手打ちうどん作り大会	S×2 A×6		
事業収支	収入:3,242,418円、支出:3,242,418円 *指定管理料3,144,848円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員への対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	玄関ドアコーキング補修	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>西砂会館は、その立地条件から他地域の利用者は少ない反面、地元利用団体の作品等が常設的に展示されているなど、西砂地域に密着した会館として親しまれている。管理運営委員会は西砂の地域色を活かし、広報誌への歴史コラムの掲載や会館事業としての伝統食文化教室の開催などを通じて、地域の各種団体とも協力しながら西砂地域の文化の継承に重点的に取り組んでいる。</p> <p>とりわけ伝統食文化についての取り組みは、他館には見られない西砂の特色と言え、そうめん流し、まゆだま飾り、手打ちうどん作り等をそれぞれ開催している。手打ちうどんについては、地元の小学校とも連携して、子どもたちにうどん作りを体験してもらう機会を提供している。こうした西砂ならではのコミュニティ事業を積極的に展開することが、地域の子どもやファミリー層の利用者を取り込むことにつながっている。</p> <p>また、会館を「地域の安全の拠点」とするため、利用者懇談会と防災訓練を同時に開催し、利用者団体と一緒に訓練に取り組んだり、館内に避難路の掲示を自主的に行うなど、事故や災害への備えについても重点的に取り組んでいる。</p> <p>このように、地域住民及び諸団体と一体となった自主事業を数多く展開するとともに、近年は稼働率を上げるためのPR活動にも励んでおり、西砂会館は、地域コミュニティの拠点としての機能を大いに果たしている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市上砂会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:334日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 74,843円 昼・夜勤務 49,100円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:41,829名(前年度37,781名) 利用件数2,695件(前年度:2,647件) 平均施設使用率:49.8%(前年度34.1%)	A		
運営企画	広報発行、新年会、利用者懇談会、講演会 S評価・・・会館まつり、クリスマスカード作り	S×2 A×4		
事業収支	収入:3,692,306円、支出:3,692,306円 *指定管理料3,692,201円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	多目的トイレ手すり補修	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>上砂会館は、平成12年に開館した、学習等供用施設11館の中で最も新しい施設である。当館の特徴として、学習等供用施設で唯一の音楽室(防音設備完備)や広いホールを備えていることもあってか、地域外からの利用や有料団体による利用も比較的多く、利用料の収入は学供施設の中で最も多い(他10館平均の約3.5倍)上に、利用者数も多い。さらに、図書館(2階)・児童館(1階)・学童保育所(1階)・福祉事業所(1階)・一般住居(3階以上)との複合施設であり、また会館の出入口を図書館と共有していることから、会館利用者以外の来館者が会館窓口を訪れることも多い。こうした事情もあり、毎日多くの会館利用者・来館者を迎える上砂会館では、日頃から窓口での接客対応については意識的に取り組んでおり、窓口では会館利用者・来館者と丁寧にコミュニケーションをとるよう心がけている。</p> <p>また、地域にある団地住民を中心に地域活動への関心が強く、会館実施事業もこうした地域の各種団体から協力を受けながら、地域住民の誰もが参加しやすいよう企画している。とりわけ、毎年9月末に2日間にわたって開催される会館まつりでは、前夜祭として今年度は地元音大のジャズオーケストラによる演奏が行われたほか、翌日の利用者団体による芸能発表では、他館と比較しても出演者数が非常に多く、限られた時間で一人でも多くの方が発表の場を持つよう工夫されている。さらに館内には所狭しと利用者による作品が展示され、また児童館では子ども向けに無料の模擬店も催されるなど、子どもから大人まで、地域の誰もが集い楽しめる場となっている。</p> <p>このように上砂会館は年間4万人近くが利用する生涯学習活動の場として、また同時に上砂地域のコミュニティセンターとして、多くの利用者、また地域住民に親しまれ、無くてはならない施設となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
幸図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年6月1日～平成30年3月31日(4年10か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:330日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 7人 (年度当初4月～8月は6人) うち司書有資格者7人(100%) 臨時職員賃金: 司書資格無890円以上 司書資格有900円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。 新たな取り組みも好評を得ており、サービス向上に努めている。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】 37,402人(前年度36,323人 前年度比103.0%) 【貸出冊数】 118,098冊(前年度123,008冊 前年度比96.0%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:25,367,744円、支出:24,037,265円 (うち指定管理料25,355,314円) 事業収支:1,330,479円 人件費比率 73.7%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	なし			
新たな取り組みの状況	利用者との交流推進 S評価・・・学校連携による調べ学習の推進(中学生が小学生を指導するワークショップの実施)	S×1 A×1		
提案の実施状況	栄町地域公共施設を利用した行事の開催による図書館利用促進、調べ学習支援行事の開催、特色ある蔵書構成の構築、パスファインダー作成、筆談ボードの設置・耳マークの配布、地域のガイドマップ作成と関連展示、市民参加型展示、近隣自治会との連携	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、一般的に良好に対応されている。	A	利用者からも、職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成27年1月～2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	自治会や商店等との連携や懇談会等の中で、情報交換を図り、意見要望が把握できている。また、近隣の市施設へ行事のチラシ配布等で協力を得るなど、連携に努めている。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>利用者数は前年度比で3.0%の微増と、他館に比べると小さな伸び率にとどまった。ただし、このことは指定管理者の努力不足やサービス低下というよりは、既に利用者開拓を十分に進めてきたことや小規模館ゆえに新刊購入に限界があることが要因として大きく、指定管理者となって5年目という状況からも、ある程度の水準を維持しながら、質や満足度での評価を高めていく段階に入っているものと考えられる。</p> <p>その意味では、26年度においても学校連携やパスファインダー作成、利用者との交流・参加型イベントなど、新たな試みを含めた様々な取り組みを実施し、また本の紹介ポップ、ブックスタンド、黒板などを使った情報発信の工夫も進めている。さらに接遇についても例年通り非常に高いアンケート評価を得ており、地域に密着した図書館として十分に評価できる館運営を行っているものと考えられる。</p> <p>こうした取り組みを支えるスタッフの教育・研修についても充実した研修体制を構築しており、26年度も多くのスタッフが研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できる。</p>		A	<p>利用者数は前年度に続き増加している。</p> <p>提案事項は着実に実施しており、新たな取り組みも行っている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価につながった。</p> <p>指定管理者導入5年目となり、高い水準で安定的に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
西砂図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:330日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 10人 うち司書有資格者8人(80%) 臨時職員賃金: 司書資格無890円以上 司書資格有900円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。 周辺地域のガイドマップを作成するなど、地域に根付いた図書館を目指して取り組んでいる。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】 47,447人(前年度41,004人 前年度比115.7%) 【貸出冊数】 166,875冊(前年度155,118冊 前年度比107.6%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:31,720,104円、支出:31,439,993円 (うち指定管理料31,691,314円) 事業収支:280,111円 人件費比率74.3%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	なし	A		
新たな取り組みの状況	講座を通じた地域住民との交流推進、館内環境の整備	A		
提案の実施状況	調べ学習支援行事の開催、各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダー作成、筆談ボードの設置・耳マークの配布、周辺地域のガイドマップ作成と関連展示、市民参加型展示、近隣自治会への図書館だより配布、父親・祖父対象講座の実施、危機管理マニュアルの作成	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からも職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月定例会議を開催。連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成27年1月～2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	以下の事案があったが、適切に対応された。 ・同姓同名の利用者の登録処理誤りにより、住所変更の手続きができなくなった。 ・都立図書館からの取り寄せ資料手配に関する苦情。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。	A
事故の予兆に対する対応	乳児を連れた保護者など、利用者の状況により、必要に応じて注意を促すなどの事故防止に取り組んだ。		「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	自治会や商店等との連携や懇談会等の中で、情報交換を図り、意見要望が把握できている。また、近隣の市施設へ行事のチラシ配布等で協力を得るなど、連携に努めている。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>利用者数は、対前年度比で15.7%の増となった。当初、駅から遠く夜間開館による利用者増をあまり見込めない地域と見られていたが、25年度より20%の夜間利用の増加が見られ、やはり一定の需要があったことがわかってきた。相互利用や住民増加の背景の中、自治会や最寄駅の鉄道会社、地元のスーパーなどとも連携して情報発信に努めたほか、「地域案内マップ」関連展示の更新・継続、飛行機・飛行場コレクションの充実など、地域に根差したサービス展開を続けてきた成果が、今年度大きく数字に表れてきたものと考えられる。</p> <p>接遇の面でも、5館の中では若干低い評価であるものの、他の項目との比較ではやはり評価が高く、昨年度数値からの向上も見られ、地元住民とスタッフとの距離が縮まってきた様子が伺える。</p> <p>スタッフの教育・研修については、会社として充実した研修制度を構築しており、本社研修や館内研修が頻繁に実施された。特に26年度は選書・除籍や地域に関する研修を多く取り入れ、スタッフそれぞれのスキルアップに努めた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できる。</p>		A	<p>利用者数は前年度より大きく増加した。潜在的な夜間需要の掘り起しにも成果が見られた。</p> <p>提案事項は着実に実施し、成果を上げている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートの評価を向上させた。</p> <p>特に地域との連携・交流に力を入れ、地域に親しまれる図書館として認知されてきており、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
高松図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:330日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員7人 うち、司書有資格者5人(71%) 臨時職員賃金: 司書資格無890円以上 司書資格有900円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。 新たな取り組みに努め、利用者増につながっている。 健康会館と連携し、子育て支援事業の支援に取り組んでいる。	A
利用状況	【利用者数】 27,773人(前年度25,535人 前年度比108.8%) 【貸出冊数】 90,850冊(前年度90,880冊 前年度比100.0%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:26,328,142円、支出:26,856,410円 (うち指定管理料26,292,342円) 事業収支:▲528,268円 人件費比率75.0%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	なし	A		
新たな取り組みの状況	展示コーナーの新設、展示の工夫 S評価・・・読書意欲を高めるオリジナル読書ノートの作成・配布	S×1 A×1		
提案の実施状況	栄町での行事開催による図書館利用促進、調べ学習支援行事の開催、健康会館と連携した子育て支援事業、パスファインダーの作成、筆談ボードの設置・耳マークの配布、周辺地域のガイドマップ作成と関連展示・市民参加型展示、危機管理マニュアルの作成	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価			2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からも、職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成27年1月～2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	図書館だより、行事のチラシ等の配布などを通し、自治会等との情報交換を行っている。高松学習館や高松児童館、健康会館と、合同行事などにより密接な連携を図っている。	A	近隣施設と連携し、事業を実施している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>利用者数は、対前年度比で8.8%の増であった。中央図書館に近い立地ではあるが、テーマ展示の解説パネル作成や健康会館のブックスタート会場へ出向いての読み聞かせを継続しつつ、26年度は更にシネマ通りを意識した映画関連の常設展示コーナーやオリジナル読書ノートを作成するなど、地区図書館ならではの利用者により近い取り組みを進めてきたことが少しずつ評価されてきたものと考えられる。</p> <p>接遇についても、朝礼で毎回あいさつの練習を行ったりするなどの努力を継続し、アンケートでは昨年度同様高い評価を得ている。</p> <p>スタッフの教育・研修については、会社として充実した研修制度を構築しており、本社研修や館内研修が頻繁に実施され、多くのスタッフが参加してスキルアップに努めた。特に学校連携を意識して児童・YA関係の研修を多く取り入れた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できる。</p>		A	<p>指定管理導入2年目。地域の特色を生かした展示などにより、地域に根差した図書館づくりに取り組み、利用者増につながった。</p> <p>併設施設、近隣施設との連携が進んでいる。</p> <p>提案事項は着実に実施しており、新たな取り組みも行っている。</p> <p>接遇には特に力を入れており、アンケートでは引き続き高評価を得ている。</p> <p>以上から、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
錦図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年6月1日～平成30年3月31日(4年10か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:330日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 9人 (12月は8人、3月は10人) うち、司書有資格者7人(78%) 臨時職員賃金: 司書資格無890円以上 司書資格有900円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。 日々利用者増の取り組みに努め、成果が上がっている。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】 58,069人(前年度54,068人 前年度比107.4%) 【貸出冊数】 188,774冊(前年度190,827冊 前年度比98.9%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:32,620,978円、支出:31,927,335円 (うち指定管理料32,588,228円) 事業収支:693,643円 人件費比率73.7%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	図書運搬リフト点検	A		
新たな取り組みの状況	新書コーナーの新設、「基本図書おみくじ」の作成	A		
提案の実施状況	調べ学習支援行事の開催、各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダーの作成、筆談ボードの設置・耳マークの配布、周辺地域のガイドマップ作成と関連展示、市民参加型展示、近隣自治会との連携、関連機関との連携	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からの、職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成27年1月～2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守(一部を除く)、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	図書運搬リフト保守点検。適正に実施された。	A		
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻りに実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者による汚損図書の弁償に関し、理解が得られなかった。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」に基づき、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	図書館だより、行事のチラシ等の配布などを通し、自治会等との情報交換を行っている。錦学習館や子ども未来センター、都立多摩図書館との連携を務めている。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>利用者数は前年度比で7.4%となり、昨年度に引き続き着実に利用者数を増やしている。指定管理5年目となった錦図書館ではあるが、新たなコーナーの設置や見直しを随時行ったり、手作りの紹介ポップを随所に設置したりするなど、利用者目線での取り組みを絶え間なく行っており、こうした取り組みの積み重ねが評価され、結果につながっているものと考えている。</p> <p>昨年度、スタッフの配置換え等により若干評価を落としていた待遇についても、アンケートの各項目で高い水準に回復させており、スタッフ一人一人の取り組みが利用者に評価されている様子が見られる。</p> <p>スタッフの教育・研修については充実した研修制度が構築されており、26年度も実務に関連する研修に多くのスタッフが参加してスキルアップに努めた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できる。</p>		A	<p>利用者数は、前年度を上回る伸び率で増加させている。</p> <p>提案事項は着実に実施しており、成果を得ている。</p> <p>利用者数伸び率や利用者アンケート評価など、前年度に課題のあった項目にしっかりと対応し、数値を向上させている。</p> <p>以上から、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
若葉図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等及び館独自のマニュアルに沿って、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:330日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 12人～14人 うち、司書有資格者11人(79%) ゼネラルマネージャー 1人 臨時職員賃金: 司書資格無890円以上 司書資格有900円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。 5館の統括館として、様々な取り組みを推進している。 調べ学習支援の取り組みが図書館の利用促進につながっている。 提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】 68,416人(前年度63,317人 前年度比108.1%) 【貸出冊数】 222,957冊(前年度216,874冊 前年度比102.8%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:55,963,086円、支出:55,150,628円 (うち指定管理料55,918,286円) 事業収支:812,458円 人件費比率64.3%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保守点検、消防設備保守点検、機械警備、清掃、空調設備点検、樹木剪定、エレベーター保守点検、建築設備定期検査、学校への図書配送	A		
新たな取り組みの状況	事務室内レイアウト変更による作業効率の改善、書架の入れ替え、パンフレットスタンドの設置	A		
提案の実施状況	采町での行事開催による図書館利用促進、学校図書館サポート事務局の設置、各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、バスファインダーの作成、市民参加型展示の実施、避難訓練の実施、AED講習の受講、図書館だよりの発行、ボランティアスキルアップ講座、図書館専用物流センターの見学 S評価・・・教員・一般・児童向けにそれぞれ調べ学習講座を実施	S×1 A×9		

評価の視点及び項目	施設担当課評価			2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	利用者からも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成27年1月～2月に実施、報告済み。独自ホームページで結果概要を公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	業務仕様書に従い、適切に実施された。 小規模修繕についても適切に実施された。	A
施設及び設備の保守・点検	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A		
保安・警備	業務仕様書に従い、適正に実施された。館内および周辺の見回りも適切に行った。	A		
小規模修繕	煙感知器交換、冷水器不具合、書架交換・設置、自動ドア不具合、トイレ排水トラップ部品交換	A		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻繁に実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の行事に積極的に参加し、住民との交流を深めている。 近隣公共施設との連携に努めている。	A	様々な事業を通じて、地域住民や近隣施設との連携は進んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>利用者数は、大きく増加した前年度に引き続き、更に8.1%増加した。また調べ学習支援・学校図書館のサポート事務局として、「調べ学習おたすけ隊」のプログラムを作成したり、学校配送便のとりまとめを行っており、26年度は更に教員向け、一般向け、児童向けそれぞれに調べ学習関連の講座を実施した。若葉図書館は従来から他の地区館に比べてやや高度なレファレンスが寄せられるなど調査・調べ学習の需要が高い様子が見られ、このあたりのサービス充実の効果も利用増の一因と考えている。</p> <p>また接客対応に関するアンケート結果について、前年度は5館の中ではやや低い評価であったが、日々の情報共有や新規採用スタッフの習熟により大きく評価を伸ばし、これまで最も数値の高かった幸を抜いて、5館で最も高い「非常に良い」評価を得た。</p> <p>こうした取り組みを支えるスタッフの教育・研修については、会社として充実した研修制度を構築しており、本社研修や館内研修が頻繁に実施された。特に26年度は児童向けの研修やレファレンス研修を多く取り入れ、スタッフそれぞれのスキルアップに努めた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できる。</p>		A	<p>指定管理導入2年目。サービス向上に取り組み、前年度に引き続き大きく利用者数が増加した。</p> <p>特にレファレンスについては、利用者ニーズに応えた高度なサービスが提供された。</p> <p>接客対応の改善に努め、アンケート結果は大きく向上した。</p> <p>提案事項は着実に実施し、成果を得ている。</p> <p>地域のニーズに応えながら、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

平成27年度(平成26年度実施分)指定管理者管理運営状況評価表

平成27(2015)年9月発行

発行 立川市公の施設指定管理者評価委員会

編集 立川市総合政策部行政経営課

〒190-8666 立川市泉町1156-9

電話 042-523-2111(代表)